

# りゅうぎん経営説明会

平成26年3月期

第22回（平成25年度）りゅうぎん紅型デザインコンテスト 大賞  
「母ガメの想い」天願 千恵



# 県内金融経済環境

# ■ 沖縄県の概要

## 自然

面積	約2,276km <sup>2</sup> （国土の約0.6%で香川、大阪、東京の次に小さい。本島の18.4%が米軍基地）
地勢	大小160の島々で構成（有人は49）
気象	年平均気温は22.7度。年平均降水量は全国平均を約26%上回る

## 人口

人口	約142万人（平成26年3月推計）
世帯	約55万世帯（平成26年3月推計）
合計特殊出生率	1.79人（全国1位 平成21年）
年少人口割合	17.89%（全国1位 平成22年）
人口増加率	0.60%（全国1位 平成22年）

## 産業

年間観光客数	641万人（平成25年 暦年）
業種別総生産	1次：2.0% 2次：12.4% 3次：85.5%（平成22年度）
経済成長率予測	1.07%（全国1位 2007～20年 実質平均成長率予測〔日本 経済研究センター〕）

（出所）沖縄県



（出所）ANA

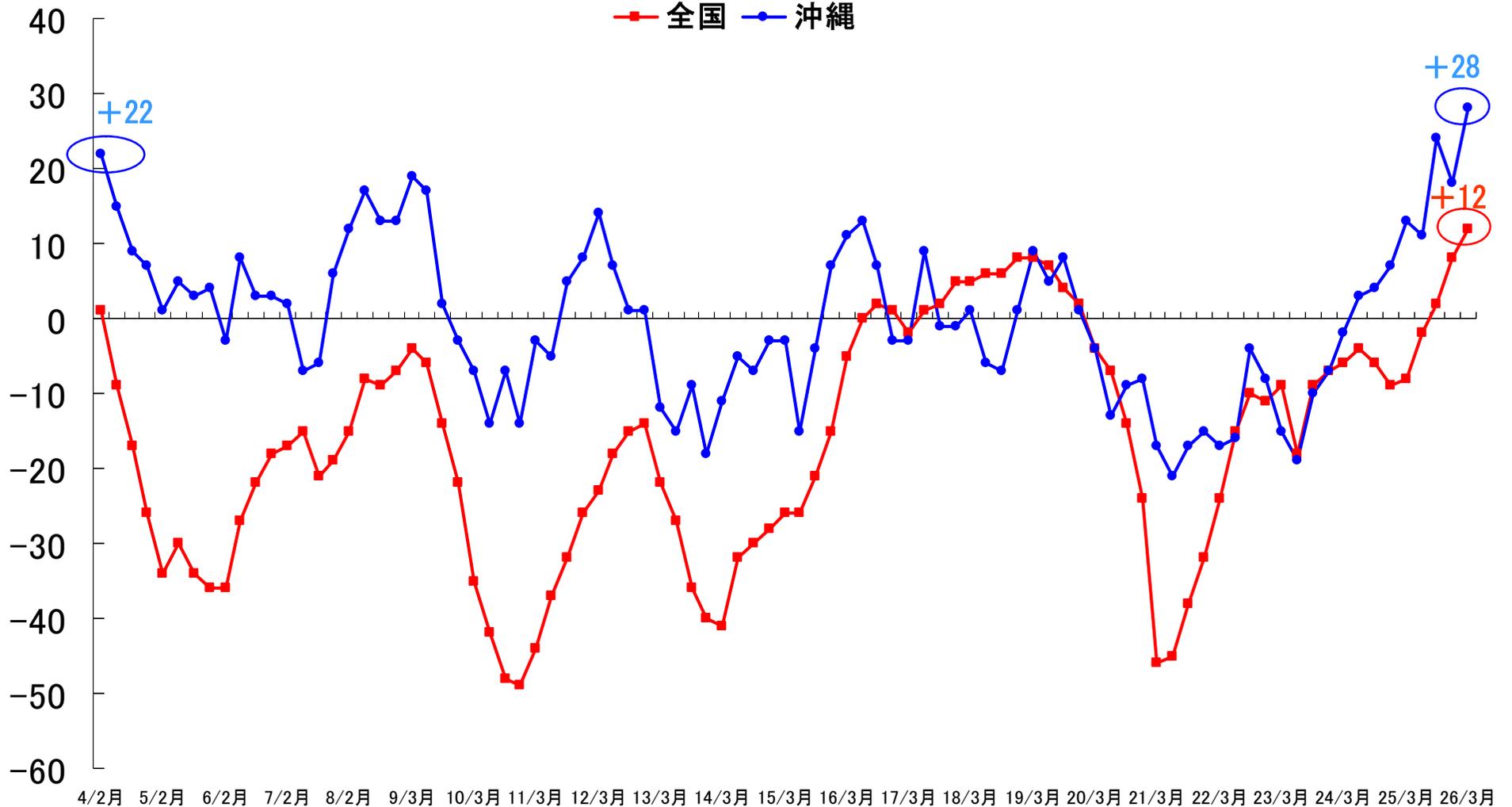
# ■ 県内景気動向（日銀短観）

## 県内景況感は22年ぶりの高水準

（業況判断DI: 良い-悪い）

### 日銀短観

—■— 全国 —●— 沖縄

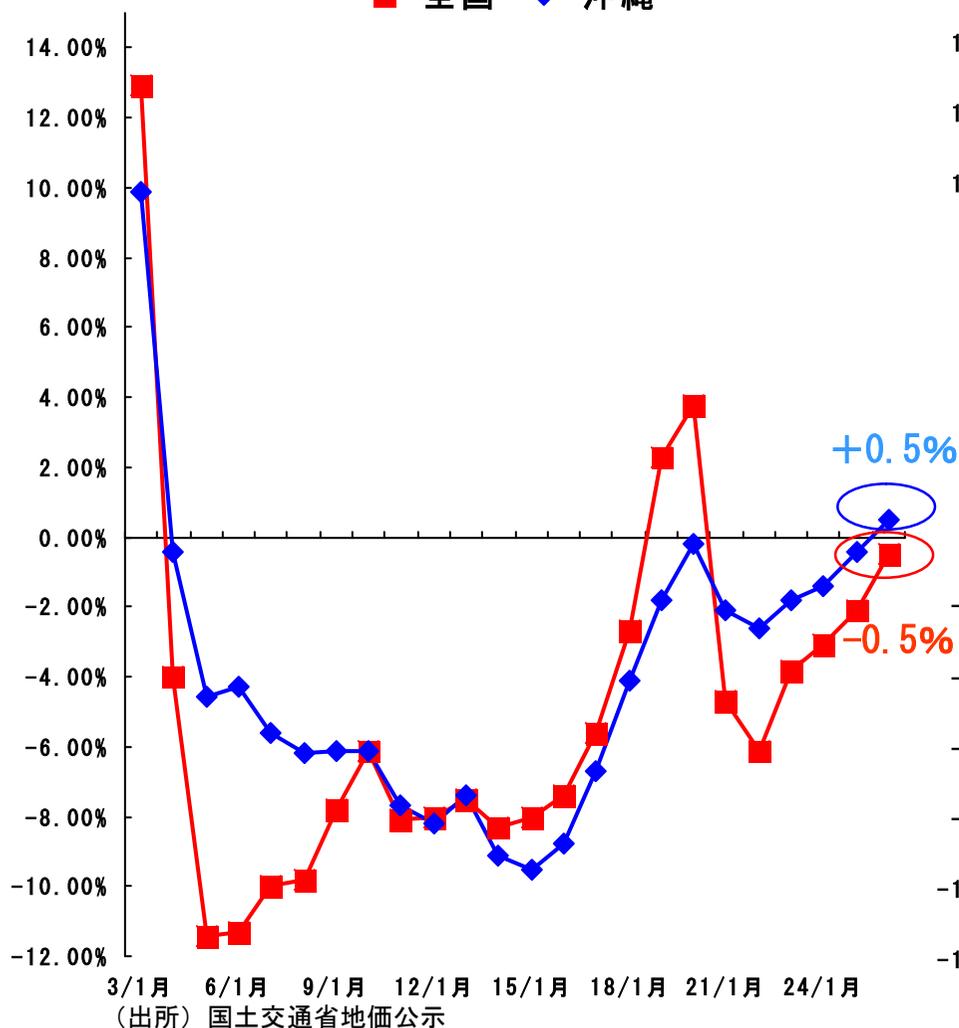


# ■ 地価の推移

## 県内の地価は商業地、住宅地とも上昇

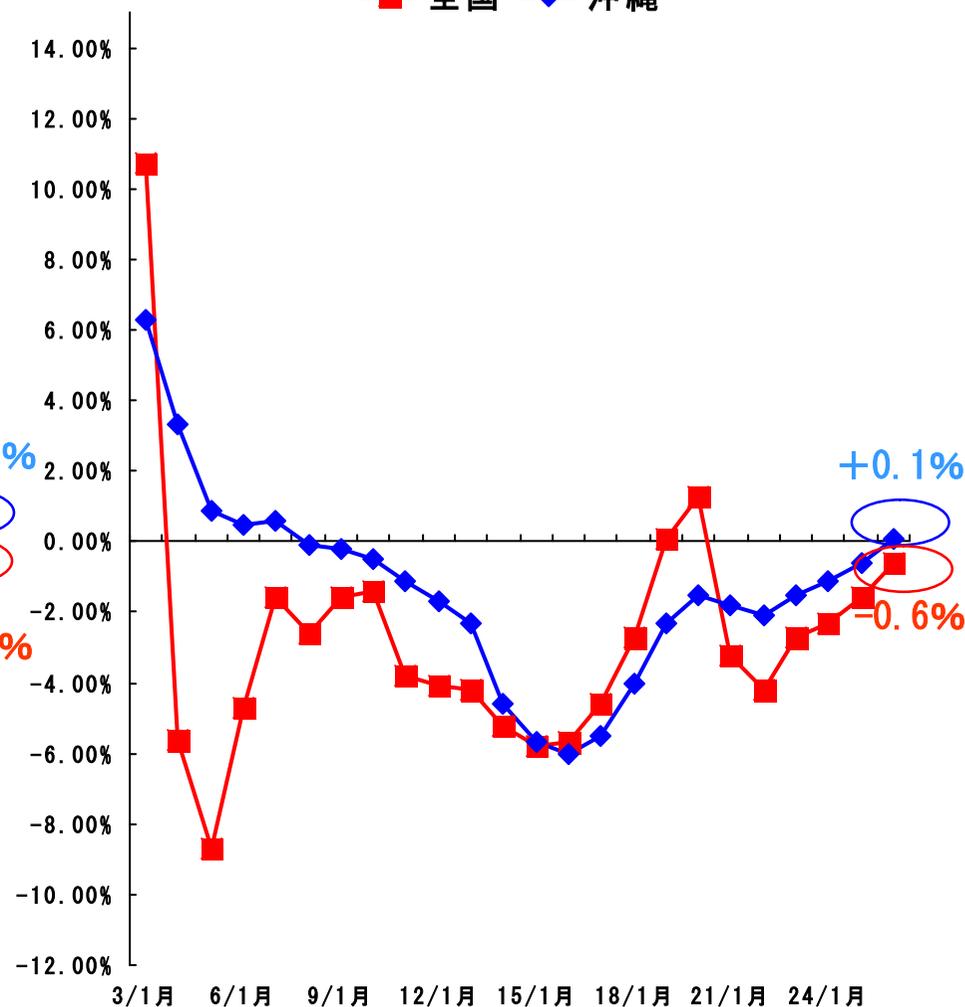
商業地（前年比）

■ 全国 ◆ 沖縄



住宅地（前年比）

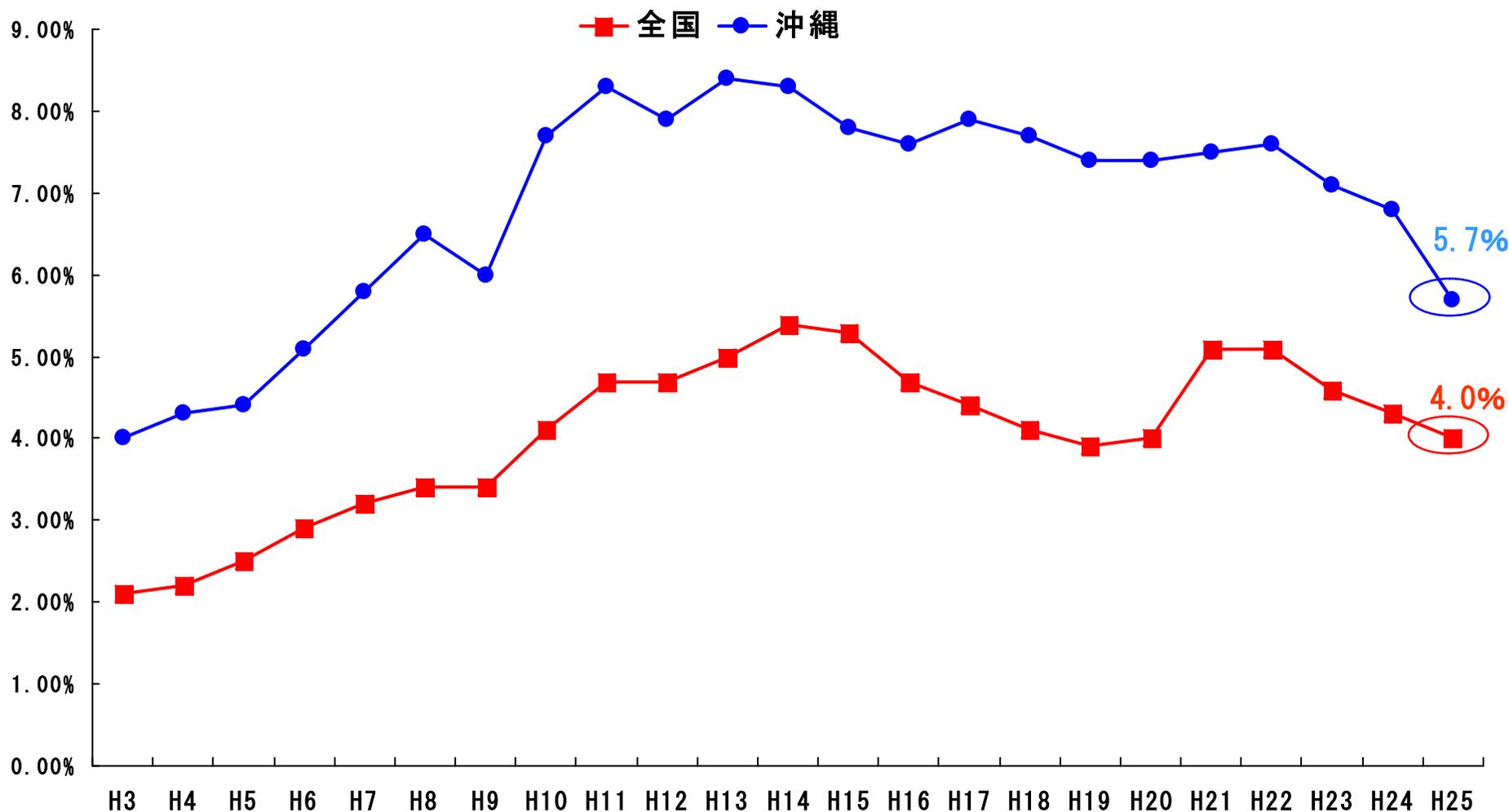
■ 全国 ◆ 沖縄



# 雇用情勢

## 失業率は前年比1.1ポイント低下するなど雇用情勢は改善

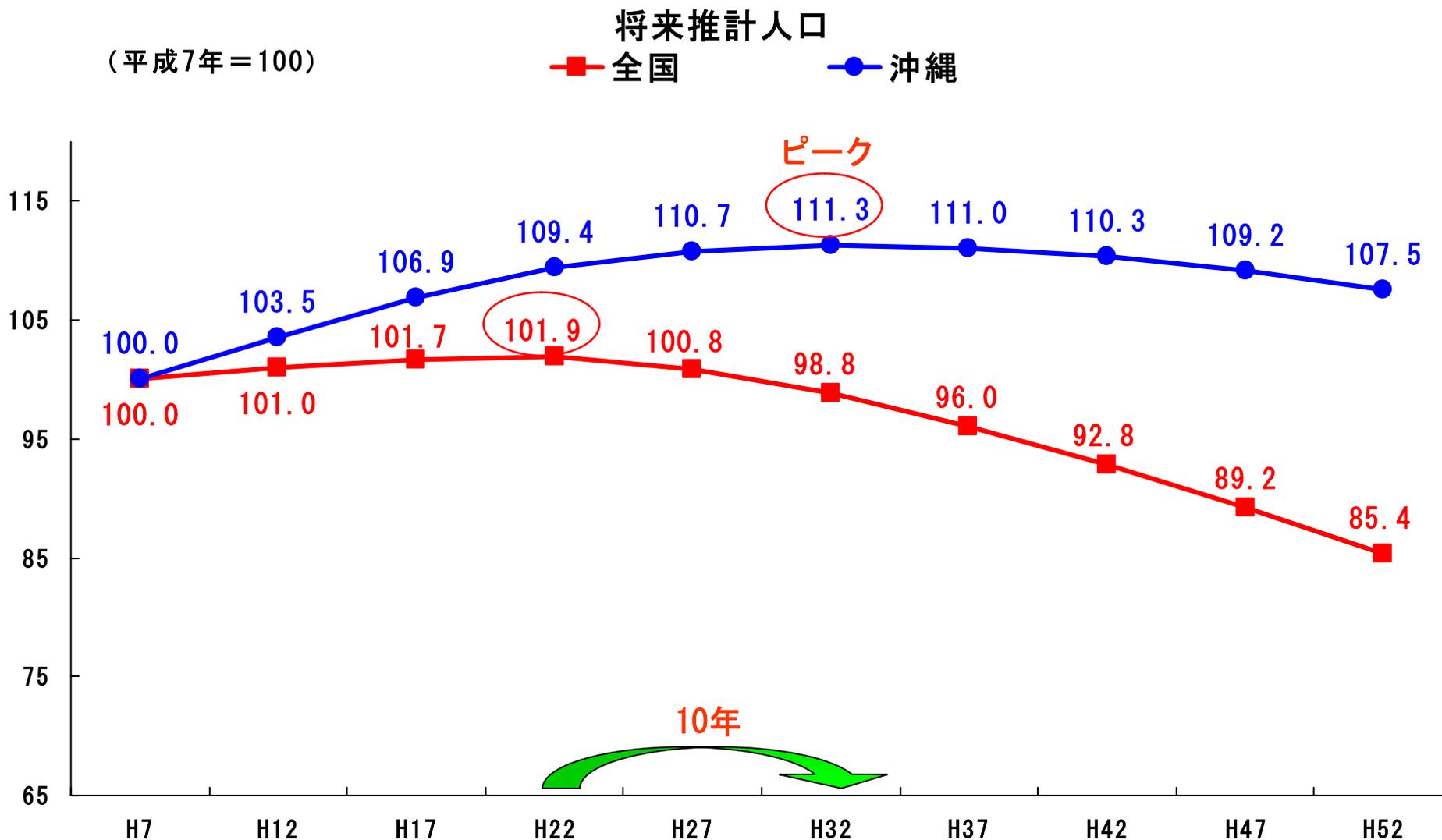
### 完全失業率の推移



(出所) 総務省労働力調査

# ■ 将来推計人口

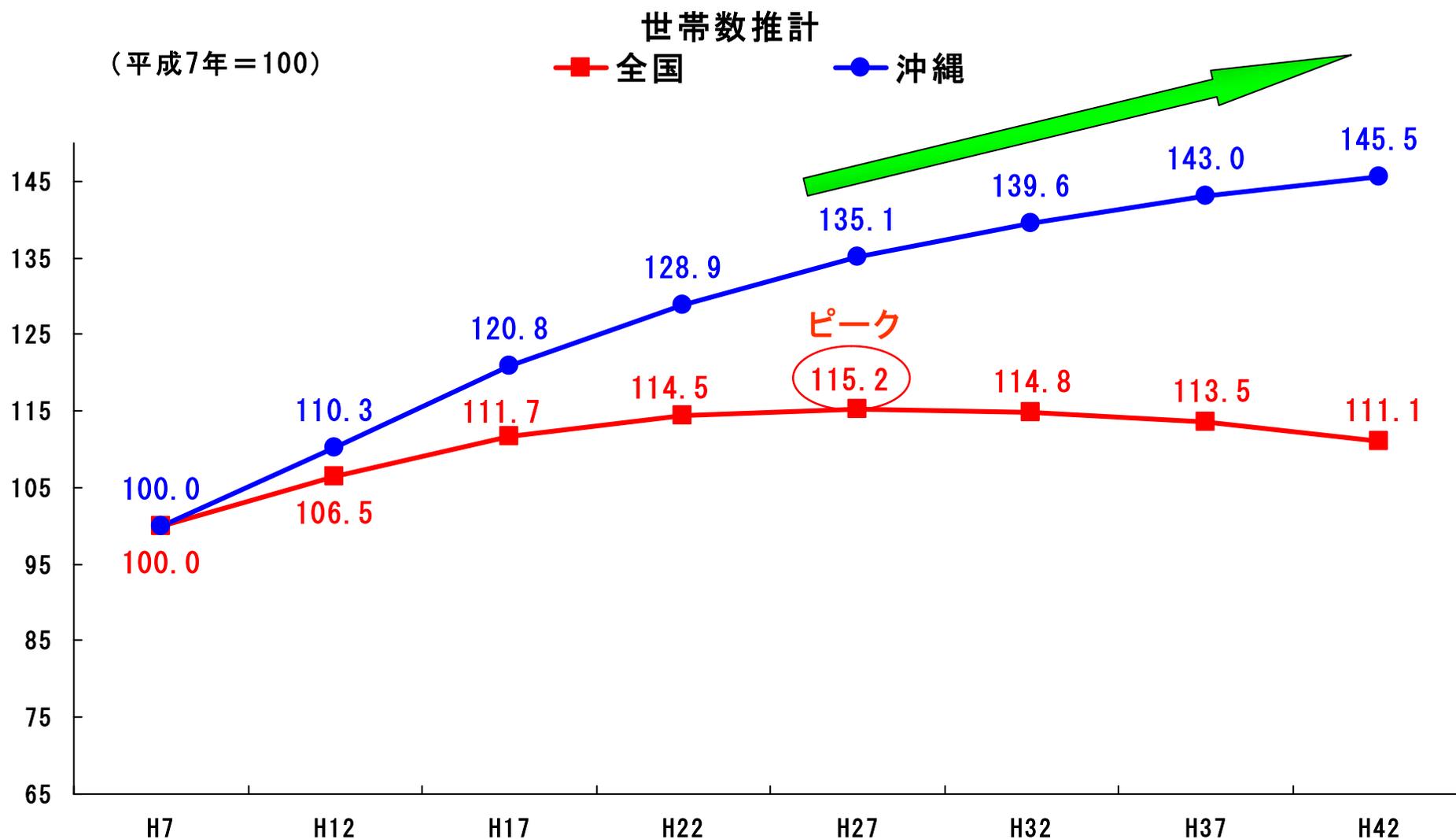
## 沖縄県の人口増加は当面続く



(出所) 平成22年までは総務省国勢調査、平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計結果(平成26年3月)により作成

# 世帯数推計

## 世帯数は拡大が続く

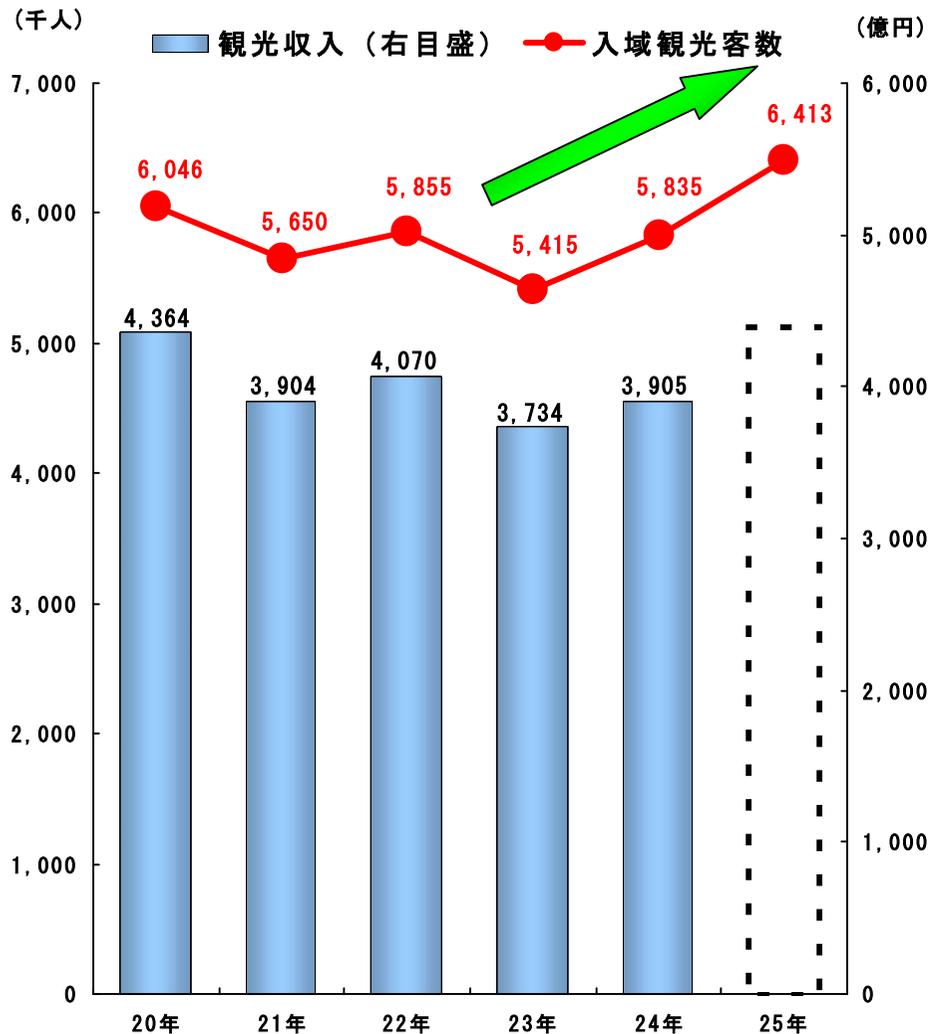


(出所) 国立社会保障・人口問題研究所の推計結果(平成26年3月)により作成

# 観光

## LCC、新石垣空港効果などから入域客数は過去最高を記録

入域観光客数および観光収入の推移



(出所) 沖縄県入域観光客統計概況

◆ LCCが15路線就航 \* ( ) 内の数字は1日の往復便数

- ピーチ・アビエーション (7)  
 那覇⇄台北 (2)、那覇⇄関西 (3)、那覇⇄石垣 (1)、  
 石垣⇄関西 (1)
- ジェットスター (5)  
 那覇⇄成田 (4)、那覇⇄関西 (1)
- パニラエア (3)  
 那覇⇄成田 (3)

◆ 平成25年3月、南の島 石垣空港が開港



(出所) 石垣空港ターミナル

◆ 平成26年2月、那覇空港新国際線ターミナルが供用開始

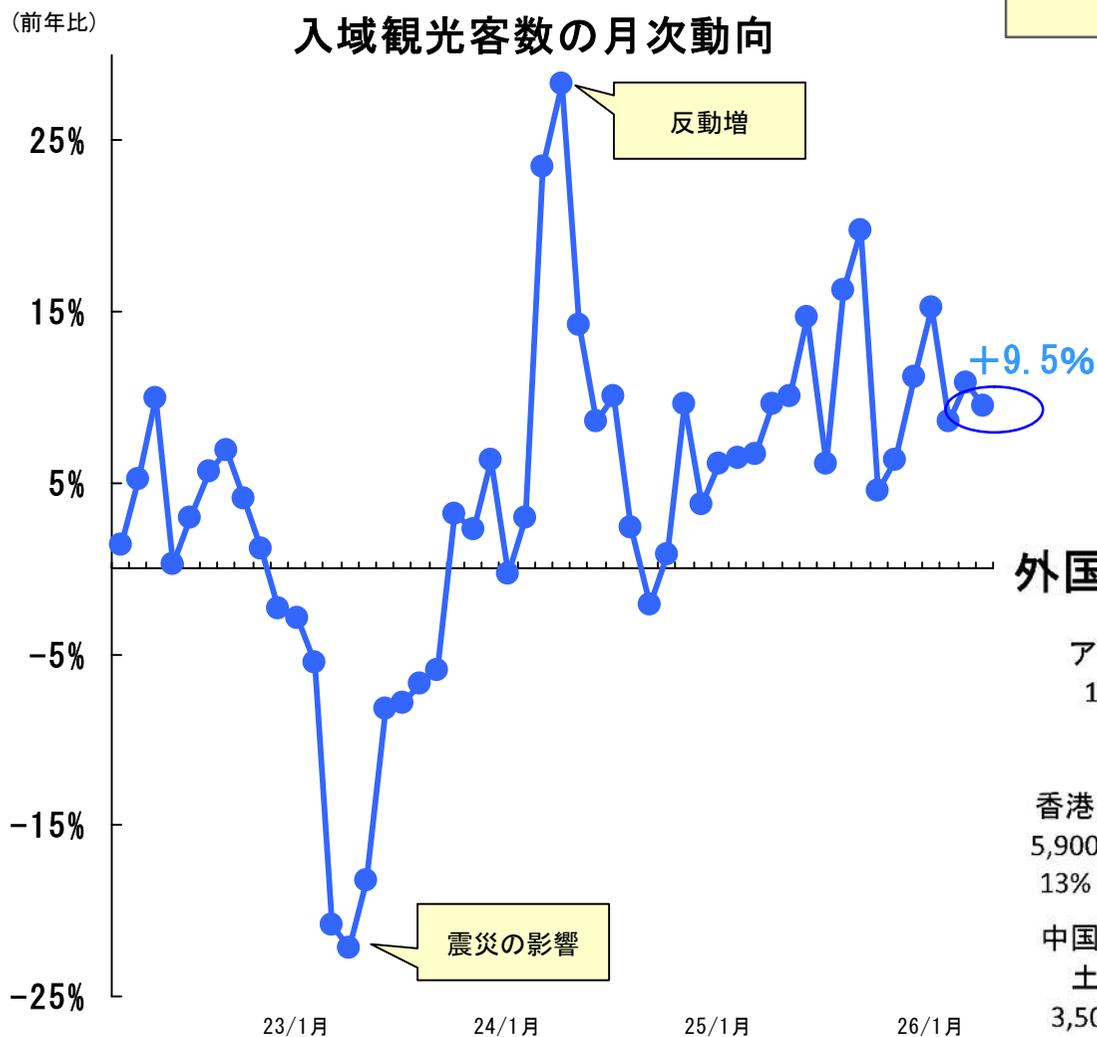


(出所) 那覇空港ビルディング

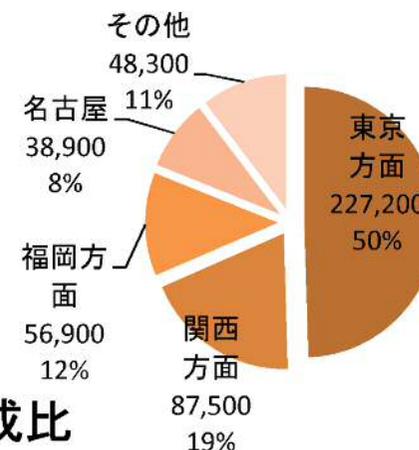
# 入域観光客の月次動向

## 19ヶ月連続で前年同月の実績を上回る

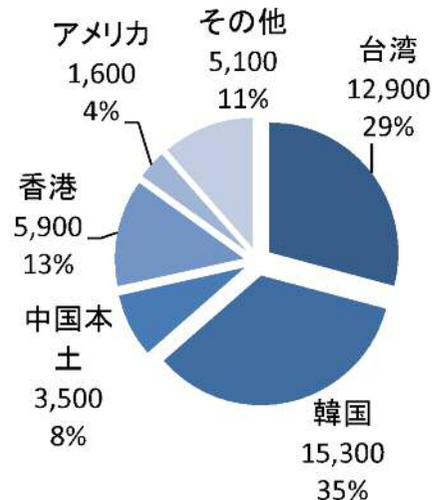
入域客の地域・国籍別構成（平成25年度）



国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



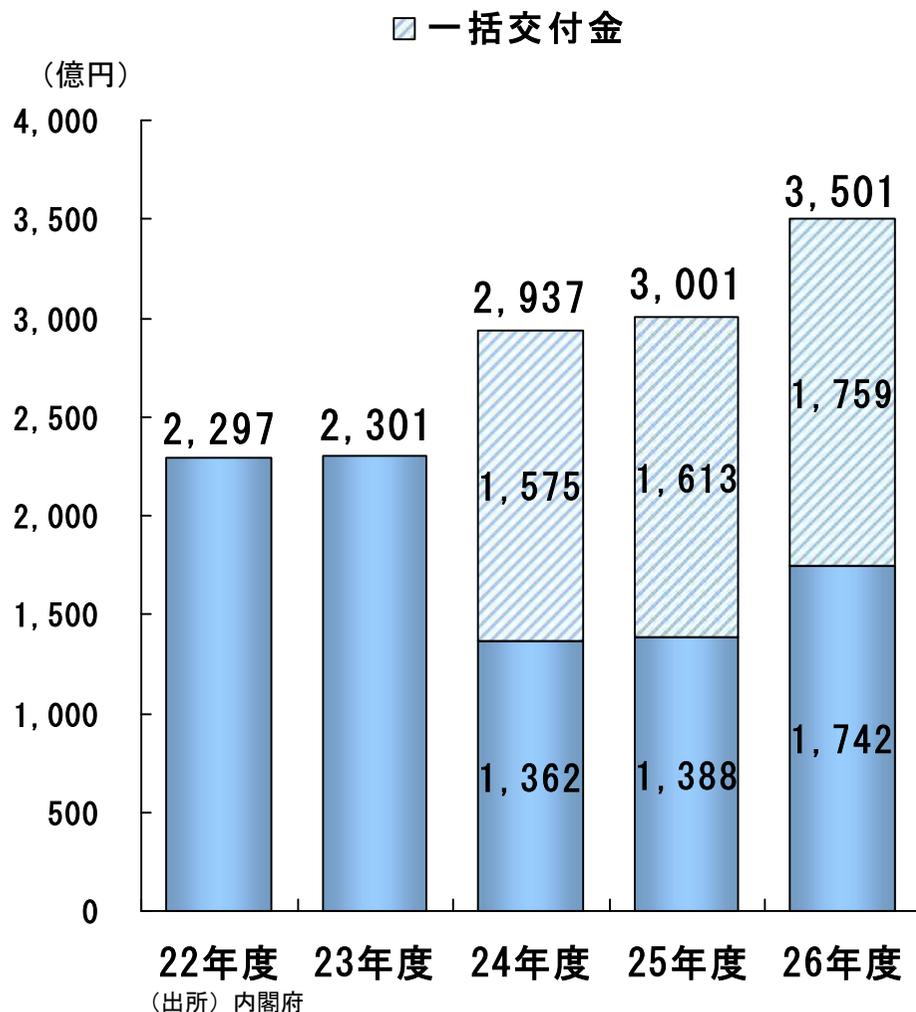
◆平成26年3月、那覇クルーズ船ターミナルビルが供用開始



(写真出所) 那覇市

# ■ 沖縄振興策

内閣府沖縄担当部局予算額の推移



25年12月24日  
 安倍総理の発言  
 (抜粋)

現行の沖縄振興計画期間(平成24~33年度)においては、沖縄振興予算は毎年3,000億円台を確保

## 沖縄振興一括交付金 (1,759億円)

	沖縄振興特別推進交付金(ソフト)	沖縄振興公共投資交付金(ハード)
予算額	・826億円	・932億円
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト事業を対象とし、沖縄独自の制度として創設</li> <li>・執行手続きを可能な限り簡素合理化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の沖縄振興自主戦略交付金を拡充するとともに、沖縄独自に対象範囲を拡大し創設</li> </ul>
対象事業	・ソフト事業など	・社会資本整備等

## 一括交付金以外 (1,742億円)

事業名	予算額
公共事業関係費等	1,382億円
(うち那覇空港滑走路増設事業) 2,700mの第二滑走路を建設、平成32年供用開始	(330億円)
沖縄科学技術大学院大学関係費	198億円
北部振興事業	51億円
鉄軌道等導入課題検討基礎調査経費	2億円

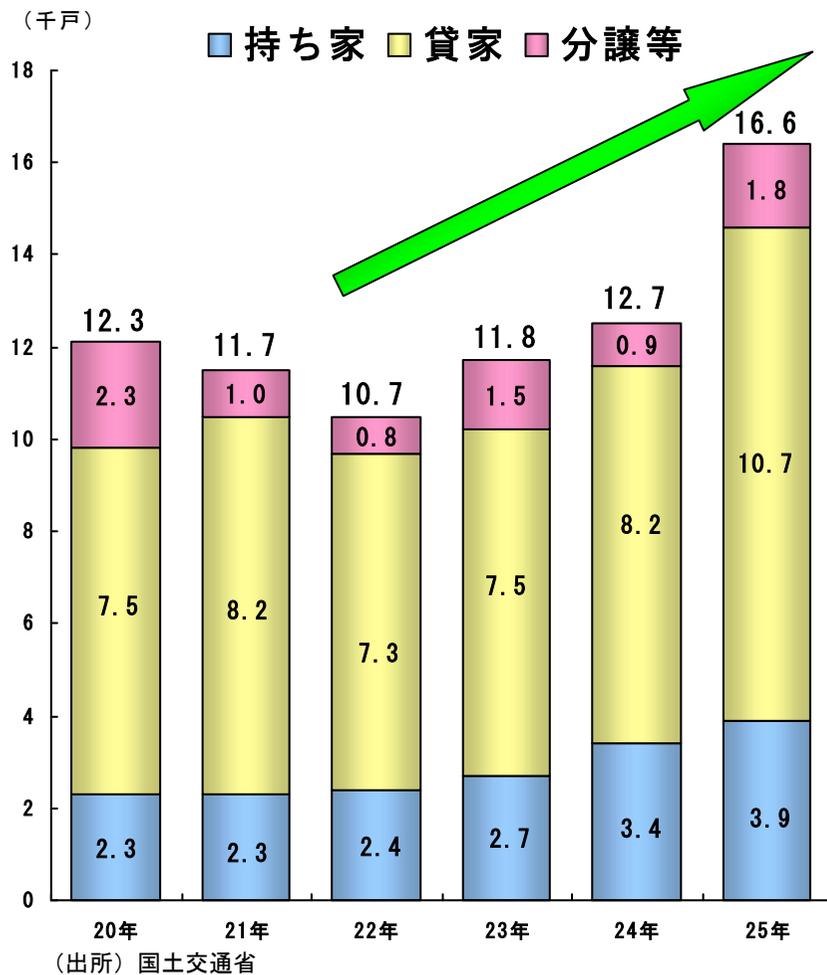
25年12月24日 山本沖縄担当大臣の発言(抜粋)

【北部振興事業】現行の沖縄振興計画期間においては、毎年少なくとも50億円の事業を継続

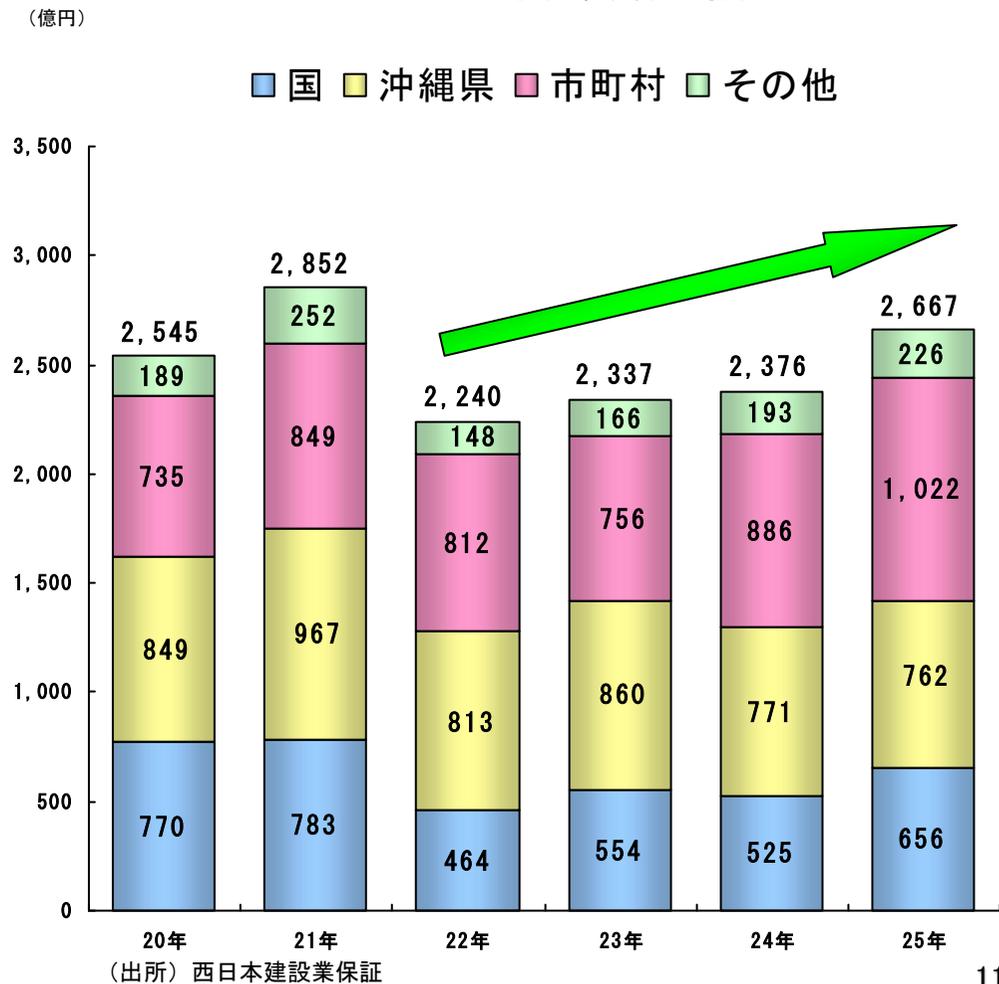
【那覇空港滑走路増設事業】財務大臣及び国土交通大臣との合意に従って、平成31年末までに確実に工事を完了

## 住宅着工、公共工事とも大きく増加

### 県内新設住宅着工戸数の推移



### 公共工事請負額の推移



# ■ 那覇空港第二滑走路

増加する航空需要に対応し、2,700mの滑走路を増設

総事業費	着工	工事完了
約1,980億円	平成26年1月	平成31年末

■ 那覇空港の滑走路建設



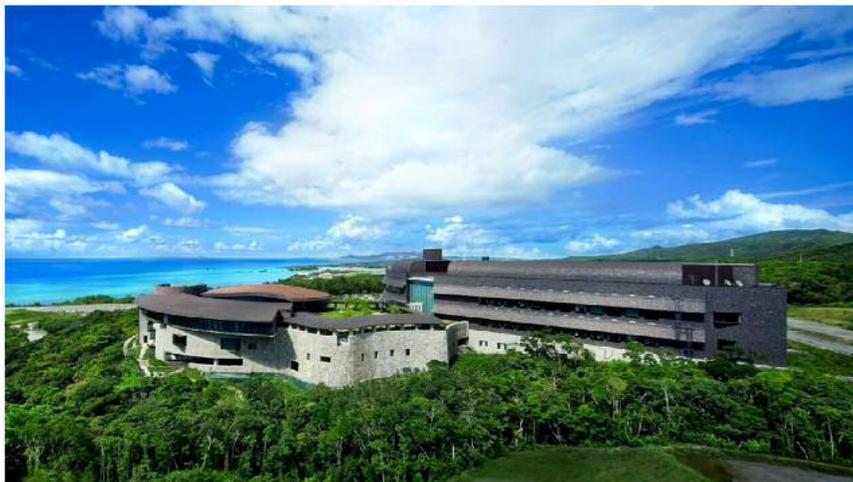
◆羽田に次ぐ国内就航路線数			
空港名	運用時間	路線数	便/日
羽田	24時間	49	1,082
那覇	24時間	27	137
福岡	7:00~22:00	26	175
新千歳	24時間	26	164
伊丹	7:00~22:00	24	158
中部国際	24時間	16	67
関西国際	24時間	12	59
成田	6:00~23:00	11	287

## 未来のシリコンバレー、アジアの研究ハブへ

### OIST

◆50人の主任研究者に加え、研究員約300人が専門分野の研究や論文発表を実施

サンゴと海洋環境をリアルタイムで観測するなど沖縄に関連する研究も実施

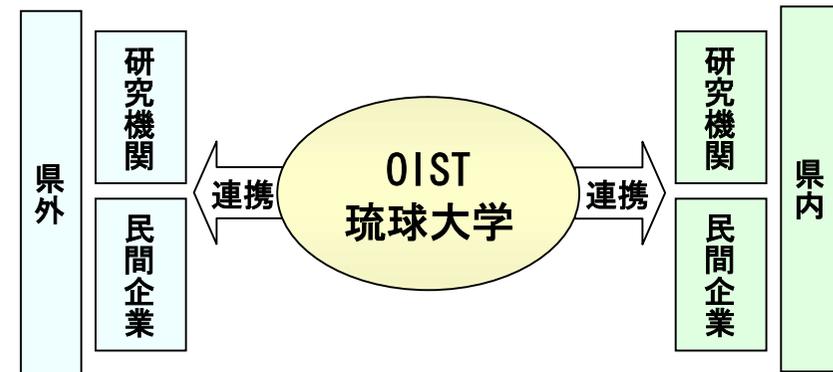


(出所) OISTホームページ

25年12月24日 山本沖縄担当大臣の発言 (抜粋)

OISTの規模拡充(教員300人規模)に向け、必要な財源の確保や質の維持などの課題も含め、様々な観点から検討

### イノベーション(技術革新)特区



世界最高水準を目指して先端的・学際的な研究活動を進める沖縄科学技術大学院大学(OIST)等を核としたグローバルな知的・産業クラスターの形成を進める。(経済財政諮問会議「骨太の方針」)

#### 沖縄力発見ツアー(内閣府主催)

平成25年12月、国内大手製薬会社13社の研究部門幹部がOISTを視察し県内医薬関連会社と意見交換を実施

# ■西普天間地区「国際医療拠点ゾーン」

# 西普天間に琉大病院

## 医学部も移転計画

## 宜野湾市や県 医療拠点検討

2015年に返還が予定される米軍キャンプ瑞慶覧・西普天間住宅地区(約51畝)に、琉球大学医学部と付属病院を移転する計画が進んでいることが27日、分かった。移転先は海軍病院に隣接し、県が計画する重粒子線治療施設などと連携した「国際医療拠点ゾーン」。宜野湾市や地主、県、国でつくる跡地利用の協議会では19〜20畝を確保する宜野湾市案が検討されている。



キャンプ瑞慶覧・西普天間住宅地区への移転が検討されている琉球大学医学部と付属病院＝2011年6月、西原町上原

大城華琉大学長と佐喜真淳宜野湾市長は20日に、県庁に仲井真弘多知事を訪ね、学長が医療拠点に参画する意向を伝え、市長は県に協力を要請する。これを受け、知事は近く上京し、総額で約1千億円とされる費用の財政的な支援を国に求めることみられる。

市や県は返還跡利用で医療拠点化を目玉に位置づけ、国も全面的にバックアップする姿勢を示している。国際医療拠点ゾーンは返還される約51畝の約4割にあたる19〜20畝。

琉大医学部や付属病院の移転が実現すれば、重粒子線施設のほか、沖縄科学技術大学院大学(OIST)、沖縄メディアカル・イノベーション・センター(OMITC)との連携も図られ、臨床研究分野での拡充も期待される。

一方で、実現のスケジュールは不透明な面もある。跡地調査で支障物が出てくれば除去に一定の期間を要する。また、移転費の裏付けや、重粒子線など関連施設の進捗、地主の合意形成などの課題もある。

市は27日夜、新城公民館で地権者への説明会を開き、琉大病院の移転案や普天間高校を県道81号沿いに移転する案を報告した。

付属病院は県内で唯一の特定機能病院。エイズ診療や、がん診療連携、肝疾患診療連携などの拠点指定を受けている。骨髄移植センター設置で感染症や心臓・循環器疾患など高度医療を担う。病床数は600床。

西原町にある現在の病院は1984年に設置され、狭さを迎える。老朽化や築30年を過ぎ、建て替えの計画を進めていた。

▼**ことば** キャンプ瑞慶覧・西普天間住宅地区 1996年のSACO最終報告で、キャンプ瑞慶覧の住宅統合に伴い返還合意された。2012年の日米による米軍再編計画の共同発表で「速やかに返還」とされた。12年に施行された駐留軍跡地利用推進特別措置法(跡地法)に基づき今年1月、一廻高返還地に初めて指定された。政府が今後の跡地利用のモデル地区に指定している。地権者は約600人。西側は利用が難しく緑地帯で、宜野湾市が公園として整備する予定。

# ■ 沖縄国際物流ハブ

アジアの中心に位置する地理的優位性～20億人の巨大マーケットの中心～



(出所) 沖縄県

## 沖縄中継モデル



24時間通関・中継機能を活用し翌日配送を実現

## 沖縄在庫モデル



沖縄に物流拠点を設け、様々なビジネスモデルを展開

# ■ 沖縄の地域・特区制度の大幅拡充

沖縄には、他県にはない高率の所得控除制度をはじめ、各種の優遇措置がある。平成26年度には、下記の特区・地域制度の抜本的な改善がなされ、使い勝手が大幅に向上した。

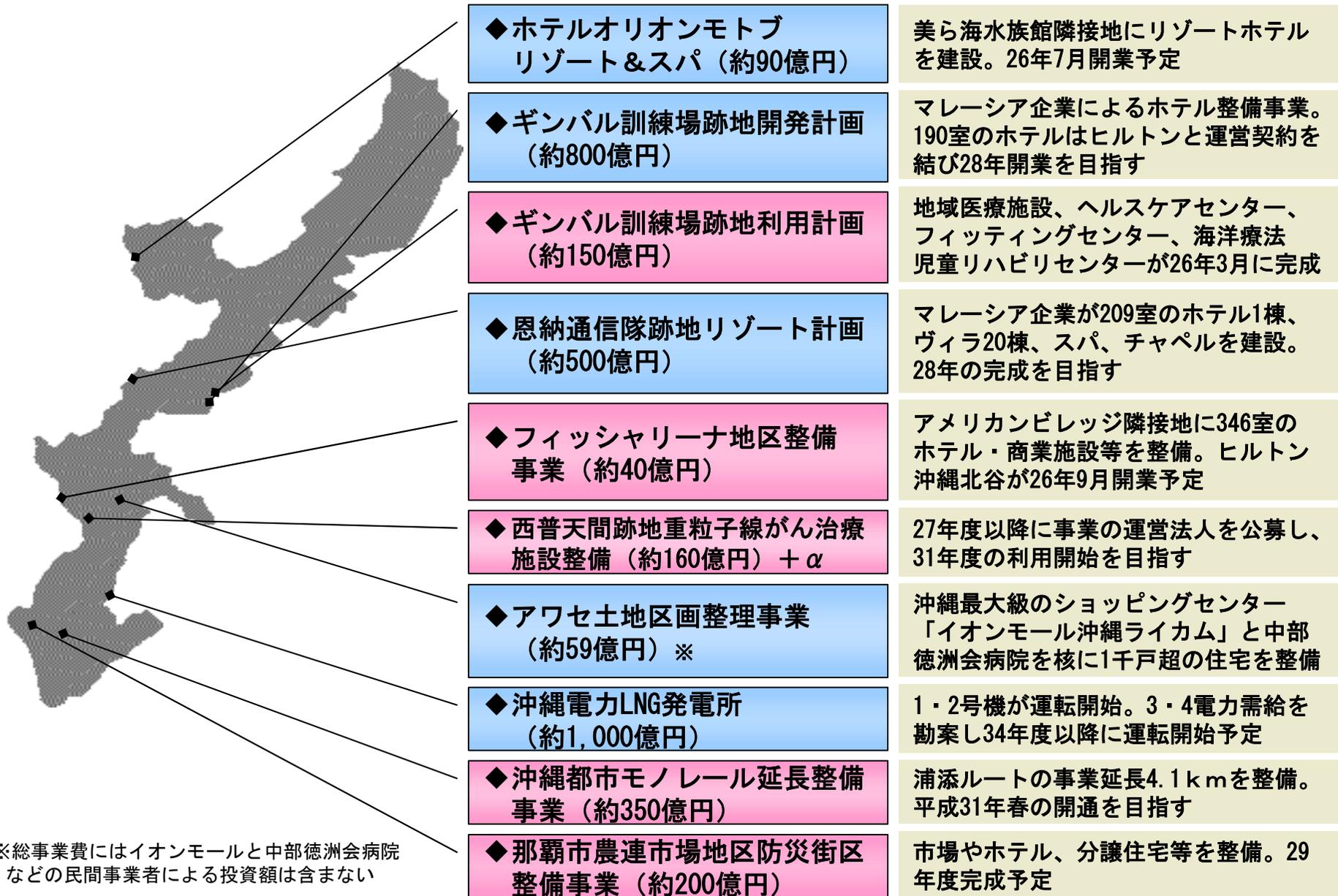
特 区		地 域	
<b>【経済金融活性化特区】</b> 県内の1地域を指定 (現行の金融特区は名護市)  (対象業種) 現行の金融業 <b>⇒知事の設定する産業に拡大</b>  ※下記の他、大幅緩和したエンジェル税制の適用あり	<b>【国際物流特区】</b> 現行は那覇地区、中城湾港新港地区、那覇空港地区、那覇港地区の4カ所 <b>⇒知事が地区指定</b>  (対象業種) 製造業、こん包業、倉庫業等 <b>⇒航空機整備業を追加</b>	<b>【情報通信産業振興地域】</b>  <b>【情報通信特区】</b> 那覇・浦添地区、名護・宜野座地区、うるま地区 <b>⇒知事が地区指定</b>  (対象産業) データセンター、プロバイダ、バックアップセンター等 <b>⇒情報通信機器相互接続検証事業を追加</b>	<b>【観光地形成促進地域、産業イノベーション地域】</b> 沖縄県内全域 (観光関連施設) スポーツ・レクリエーション、教養文化、 <b>休養、集会</b> 、販売施設 <b>⇒対象施設の床面積要件等を撤廃等</b>  (産業イノベーション対象業種) 製造業、こん包業、倉庫業、卸売業、商品検査業等

## 措置の概要

<b>&lt;所得控除(特区のみ)&gt;</b>  <b>40%、10年間</b> (右の投資税額控除等との選択制)  ※ 特区内に本店又は主たる事務所を有すること、特区内で設立され10年以内の企業等、いくつかの要件あり  <b>※ 常時使用従業員数要件は大幅に緩和</b>	<b>&lt;投資税額控除等(特区・地域共通)&gt;</b>  <b>・機械等15%、建物等8%</b> <b>対象資産の下限取得価額を大幅引下げ(1000万円超⇒100万円超等)</b>  <b>・特別償却(機械等50%、建物等25%)</b> ※ 経済金融活性化特区、国際物流特区、産業イノベーション地域(機械等34%、建物等20%)のみ。所得控除、投資税額控除との選択制	<b>&lt;その他の支援措置&gt;</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>名護市、うるま市等に各種のインキュベーション施設、分譲地・賃貸工場を用意</li> <li>事業税、不動産取得税、固定資産税等の軽減措置</li> <li>沖縄 - 本土間の情報通信費の支援</li> <li>沖縄若年者雇用促進奨励金等の支援</li> <li>沖縄振興開発金融公庫による低利融資</li> </ul>
---	---	---

# ■ 県内主要プロジェクト

□ : 民間事業    □ : 公共事業    ( ) : 総事業費



※総事業費にはイオンモールと中部徳洲会病院などの民間事業者による投資額は含まない

# 26年3月期決算の概況

## ■決算の概要（単体）

### 9年ぶりの増収増益

（単位：億円）

	26年3月期	25年3月期	増減
経常収益	379	375	+4
業務粗利益	302	293	+9
経費	217	214	+3
<b>実質業務純益</b>	<b>85</b>	<b>78</b>	<b>+7</b>
ネット与信コスト	25	28	-3
その他臨時損益	3	-4	+7
<b>経常利益</b>	<b>63</b>	<b>45</b>	<b>+18</b>
法人税等合計	28	20	+8
<b>当期純利益</b>	<b>34</b>	<b>24</b>	<b>+10</b>

\* 実質業務純益＝業務粗利益－経費

\* 増減は表上計算

## ■ 決算の概要（連結）

増収、利益は子会社(りゅうぎん保証)の議決権比率引上げの影響などにより大幅増益。

(単位：億円)

	26年3月期	25年3月期	増減
連結経常収益	399	393	+6
連結経常利益	74	56	+18
連結当期純利益	49	27	+22

【議決権比率引上げに関連した子会社等の状況】

(単位：億円)

会社名	当期純利益 (26年3月期)	純資産 (26年3月期)	議決権比率	議決権比率引上げに伴う 連結利益への影響
りゅうぎん保証㈱	3	22	5.00%⇒96.15% ※H26.3.19より	11 (負ののれん発生益)
㈱琉球リース	5	37	4.98% (当行保有分)	4 (持分法による投資損益)
			15.21% (りゅうぎん保証保有分)	

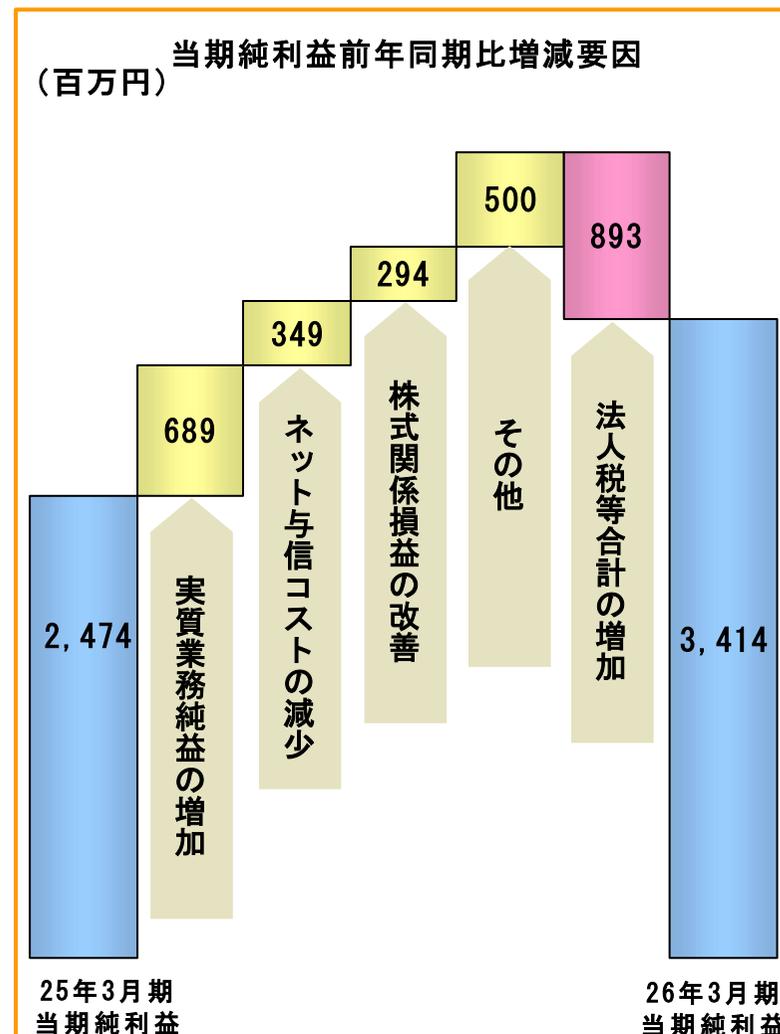
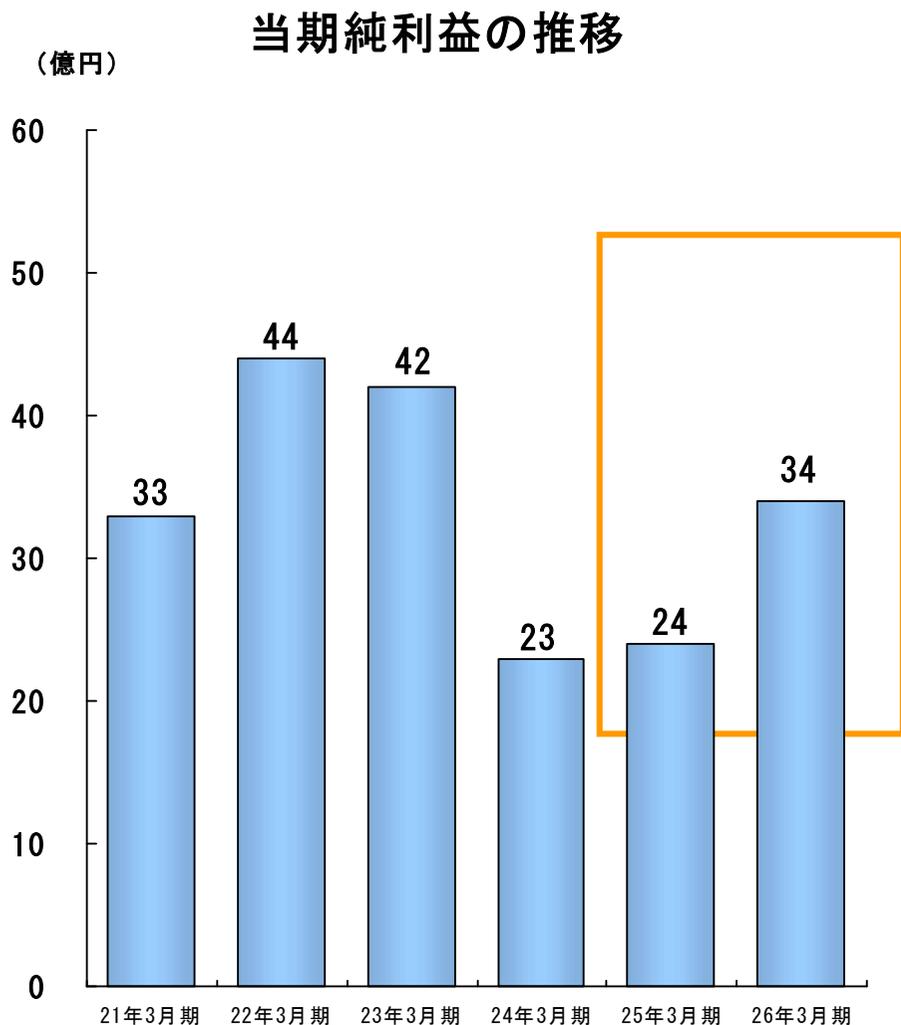
\* 平成26年3月、㈱琉球リース株式を一部保有していたりゅうぎん保証㈱の株式を追加取得し、議決権比率を引き上げ

\* 平成26年4月、持分法適用会社である㈱琉球リースの株式を追加取得し、議決権比率が49.96%となったため、同社を連結子会社化

\* 増減は表上計算

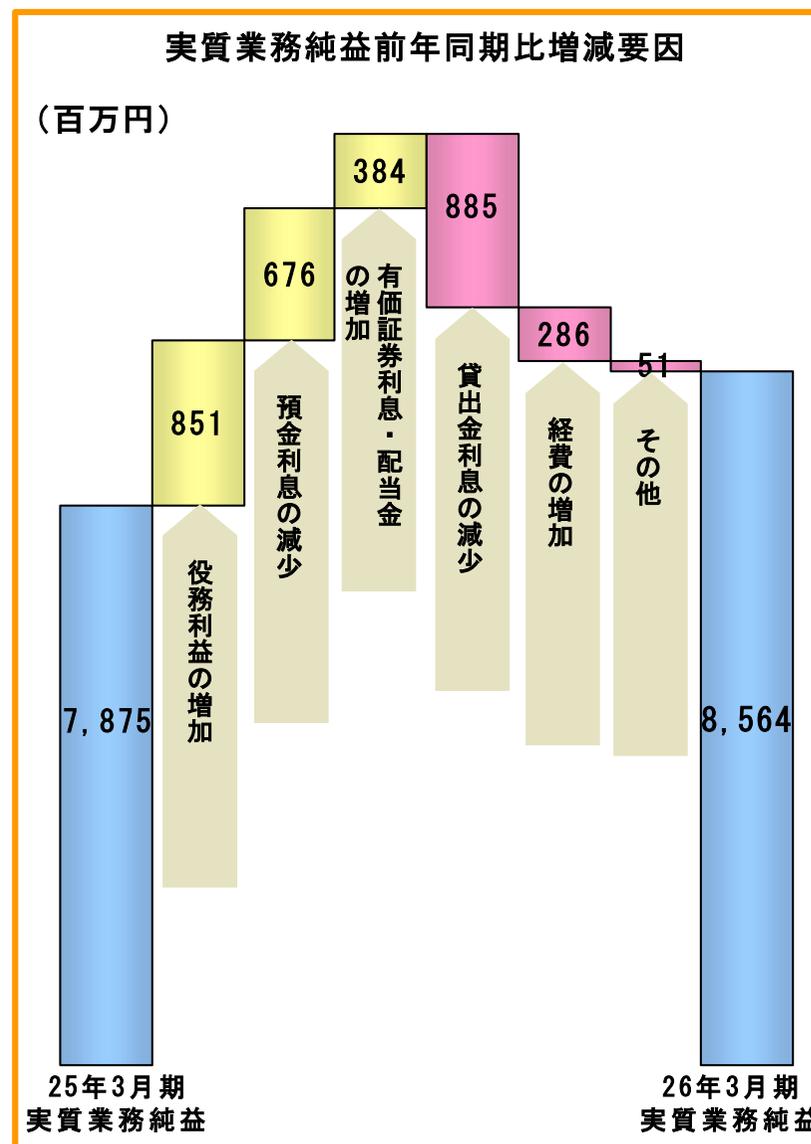
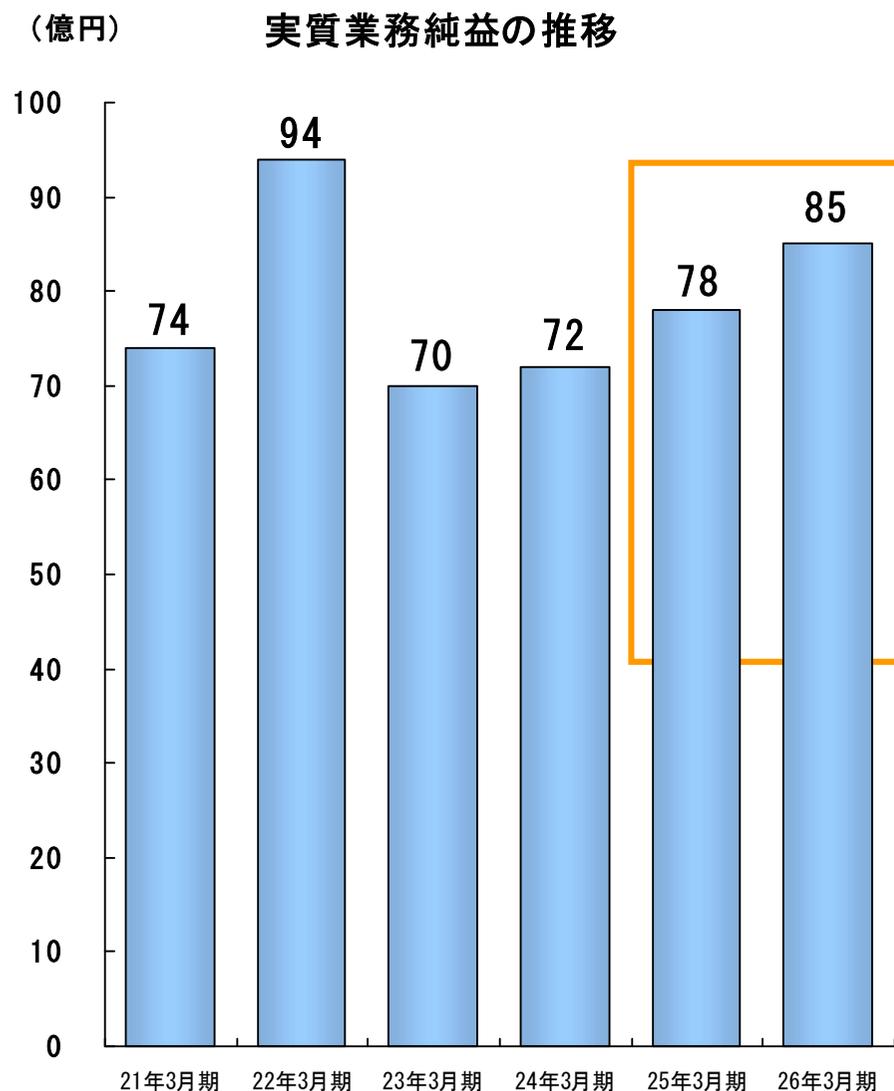
# ■ 当期純利益の増減要因（単体）

実質業務純益の増加を主因に当期純利益は増加



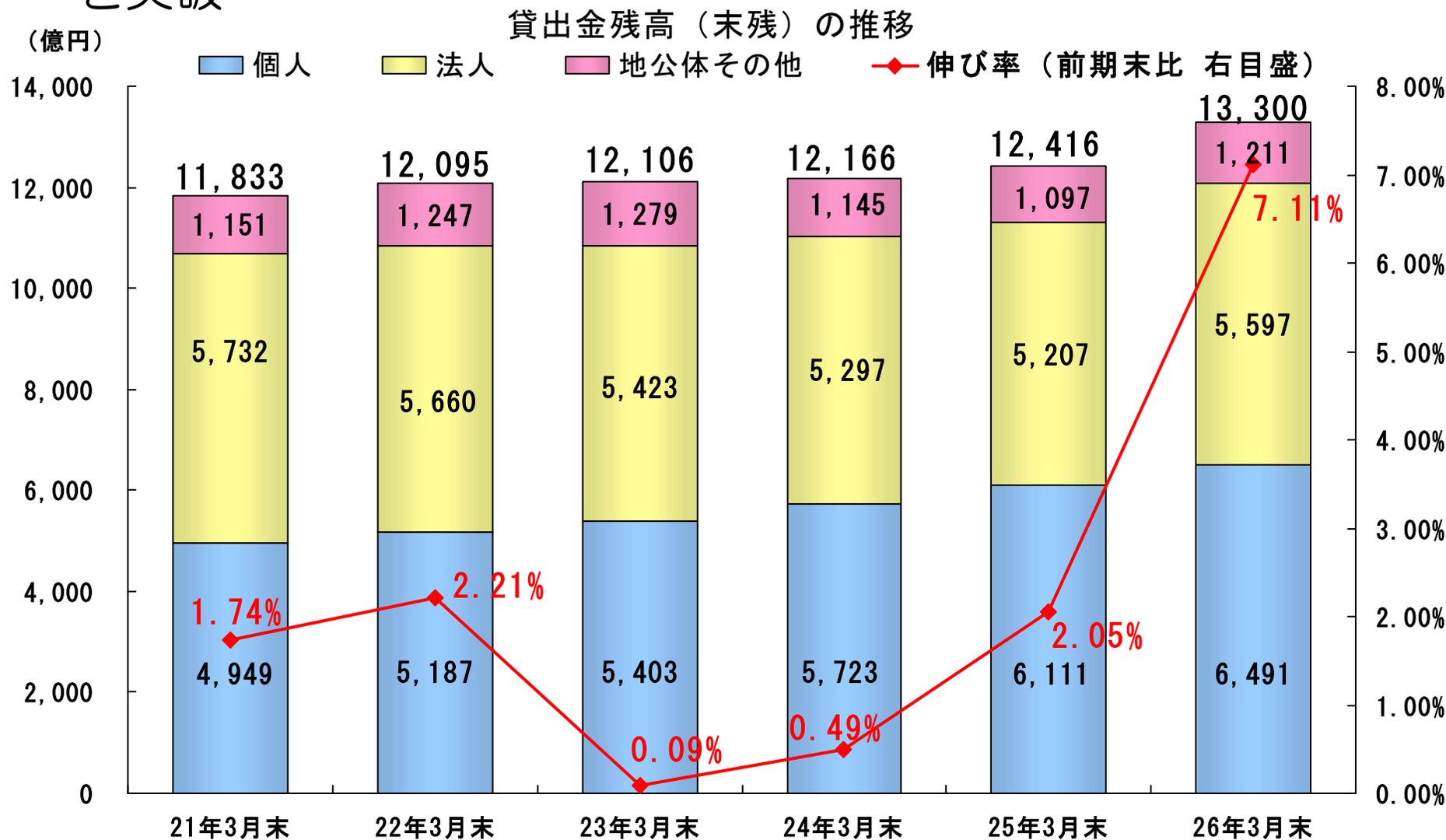
# ■ 実質業務純益の増減要因（単体）

役務利益の増加、預金利息の減少を主因に実質業務純益は増加



# 貸出金（単体）

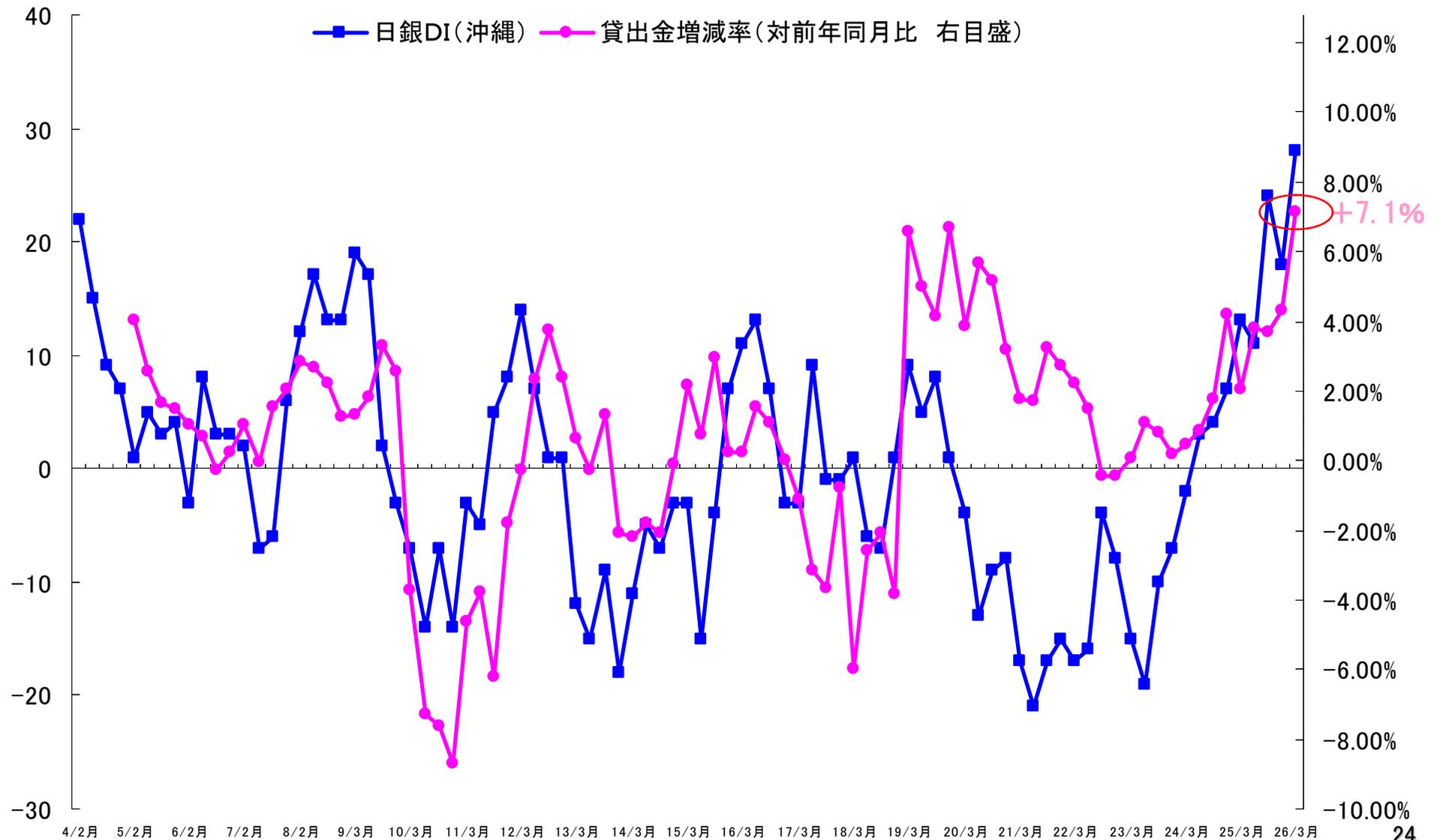
個人、法人、地方公共団体向けともに増加し、1兆3,000億円を突破



\* 伸び率は表上計算

# ■ 県内景気と当行貸出

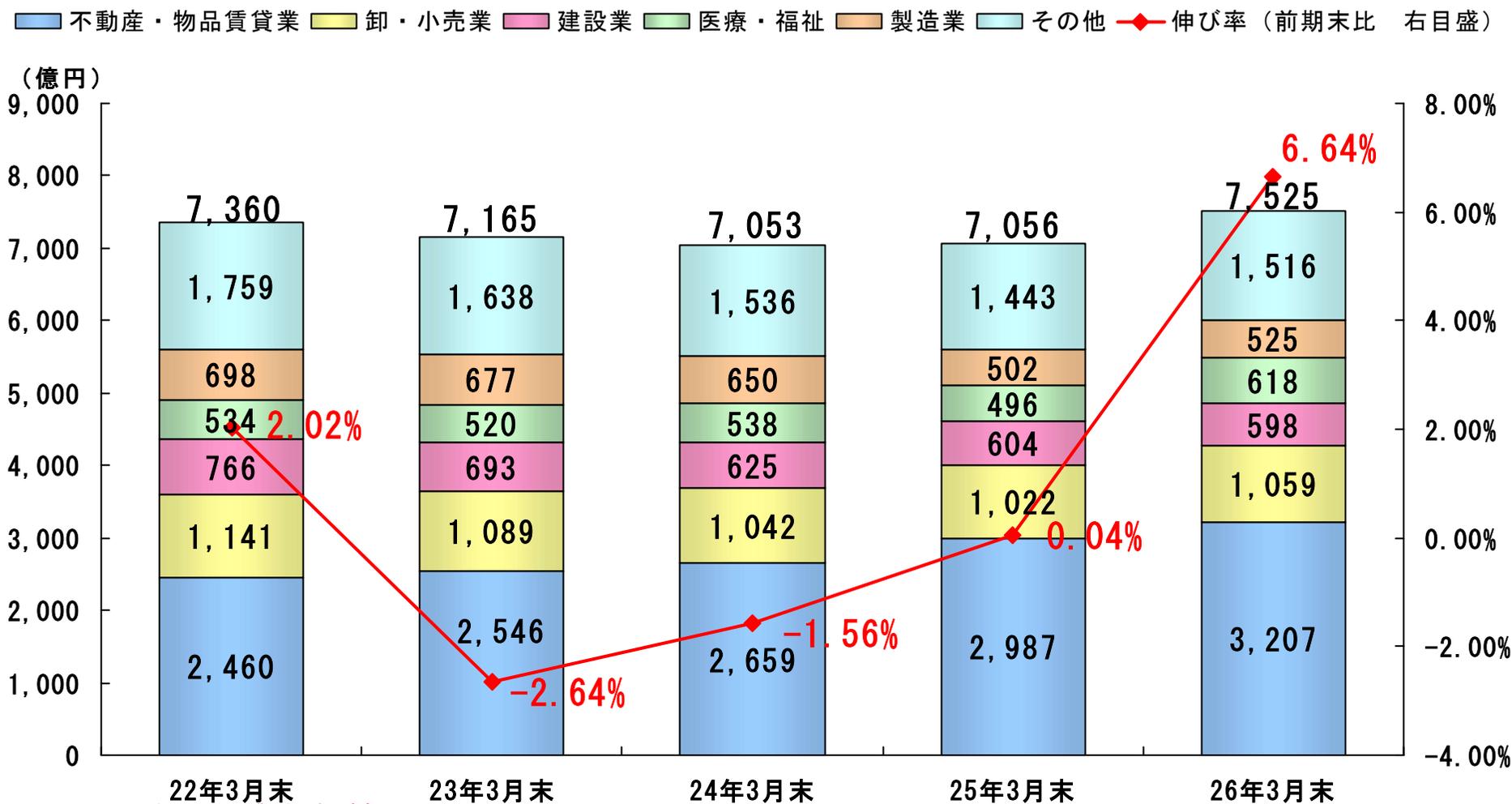
## 県内景況と当行貸出増減の関連性は高い



# ■ 事業性貸出金（単体）

アパート資金等の不動産業向けや医療福祉向けを中心に増加

事業性貸出金（末残）の推移

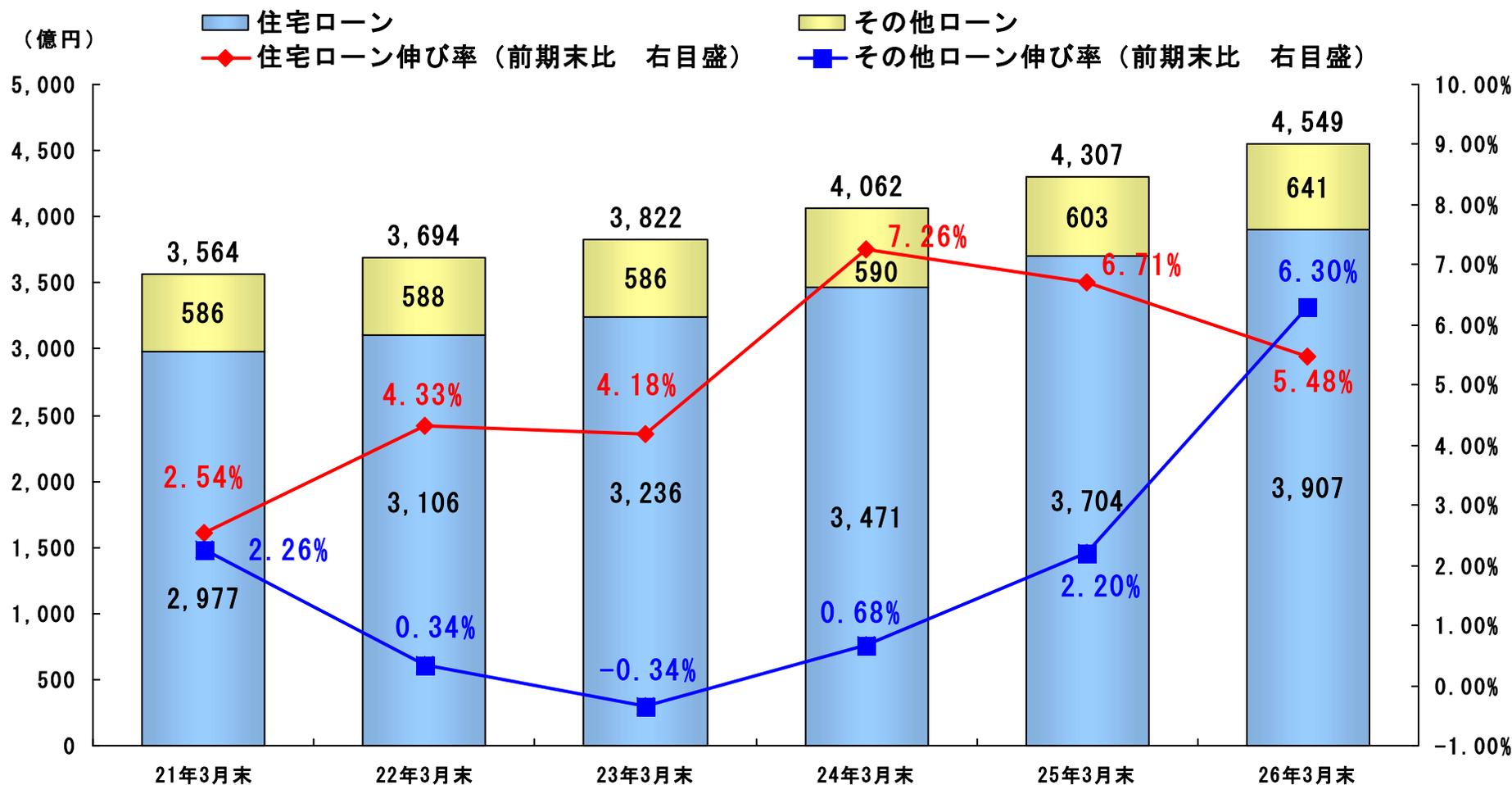


\* 21年9月から業種分類が変更  
\* 個人事業性貸出の取扱いが異なることからP6■貸出金の「法人」とは一致しない  
\* 伸び率は表上計算

# ■消費者ローン（単体）

住宅ローンのほか、カードローン、マイカーローン、教育ローン  
も好調に推移

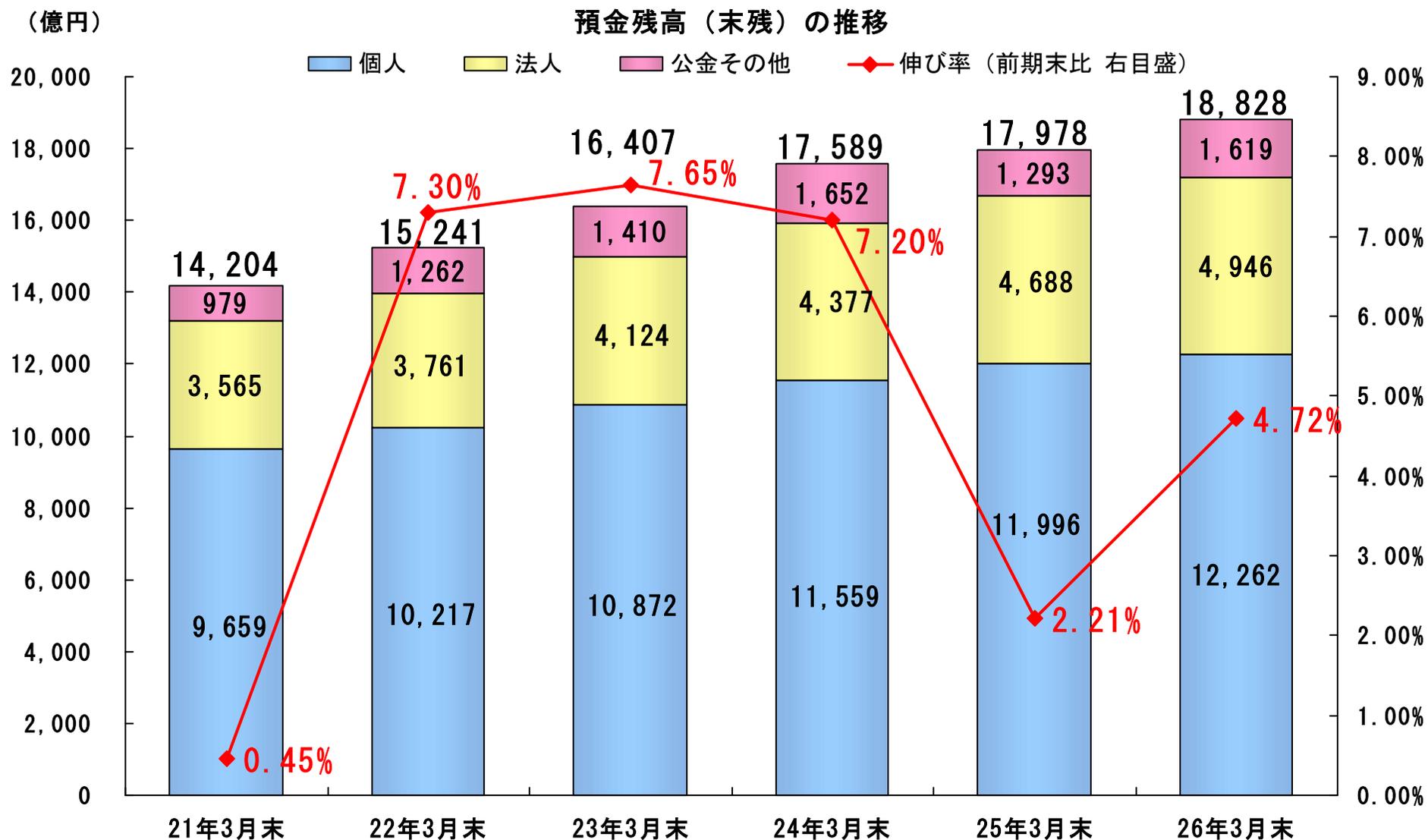
消費者ローン（末残）の推移



\* 個人事業性貸出が含まれないことからP6■貸出金の「個人」とは一致しない  
\* 伸び率は表上計算

# ■ 預金（単体）

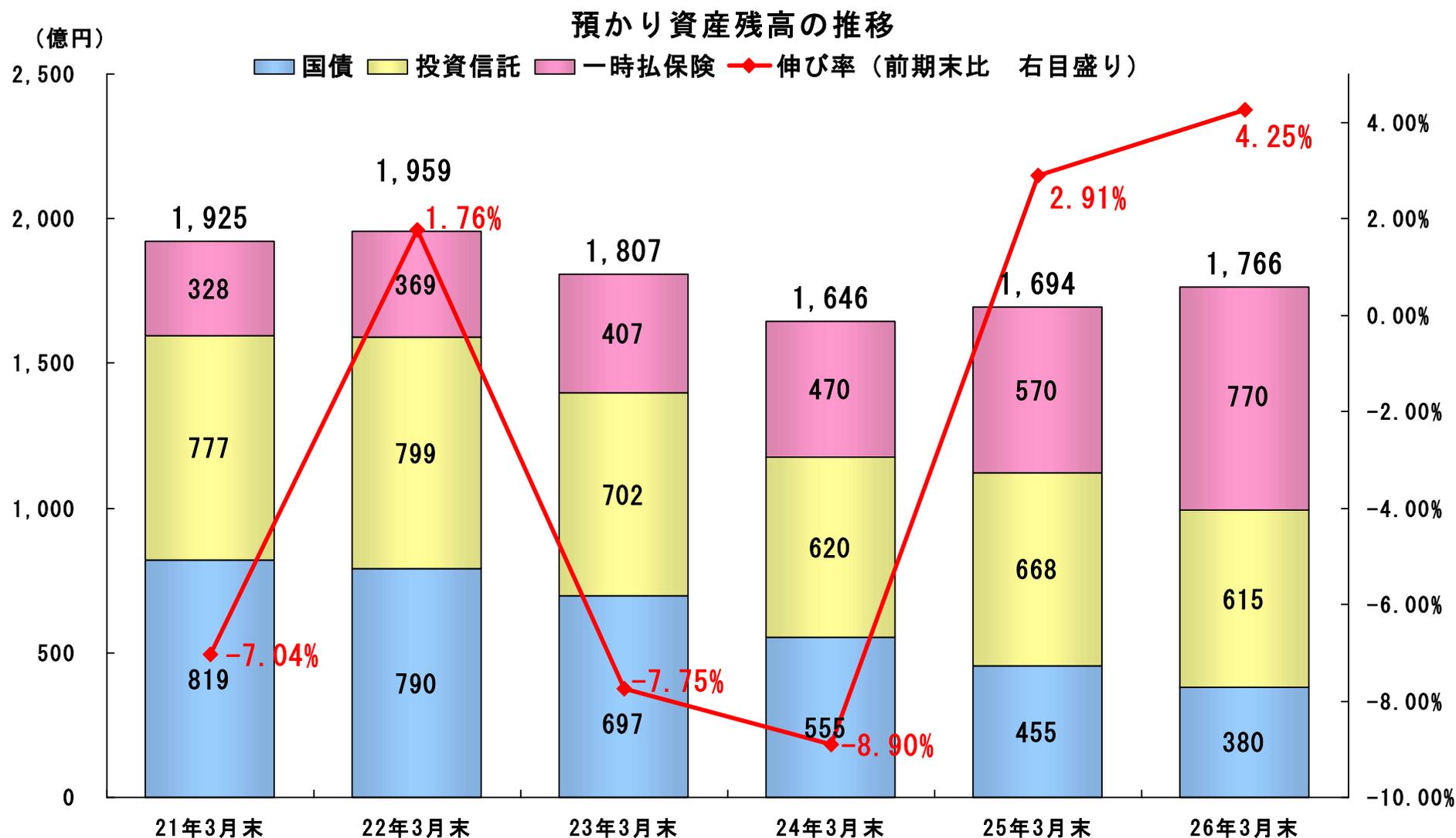
個人・法人は好調を維持、公金は指定金融機関交替により増加



\* 伸び率は表上計算

# 預かり資産（単体）

保険販売が好調に推移し、預かり資産残高は増加



\* 一時払保険：一時払個人年金保険、一時払終身保険、一時払医療保険の契約額

\* 伸び率は表上計算

## ■27年3月期業績の見通し（単体）

貸出金利回りは低下するものの、役務利益の拡大により当期純利益は25年度並みを見込む

（単位：億円）

	27年3月期 予想	26年3月期 実績	増減
業務粗利益	295	302	-7
経費	222	217	+5
<b>実質業務純益</b>	<b>73</b>	<b>85</b>	<b>-12</b>
ネット与信コスト	25	25	0
<b>経常利益</b>	<b>53</b>	<b>63</b>	<b>-10</b>
法人税等合計	19	28	-9
<b>当期純利益</b>	<b>33</b>	<b>34</b>	<b>-1</b>

\* 増減は表上計算

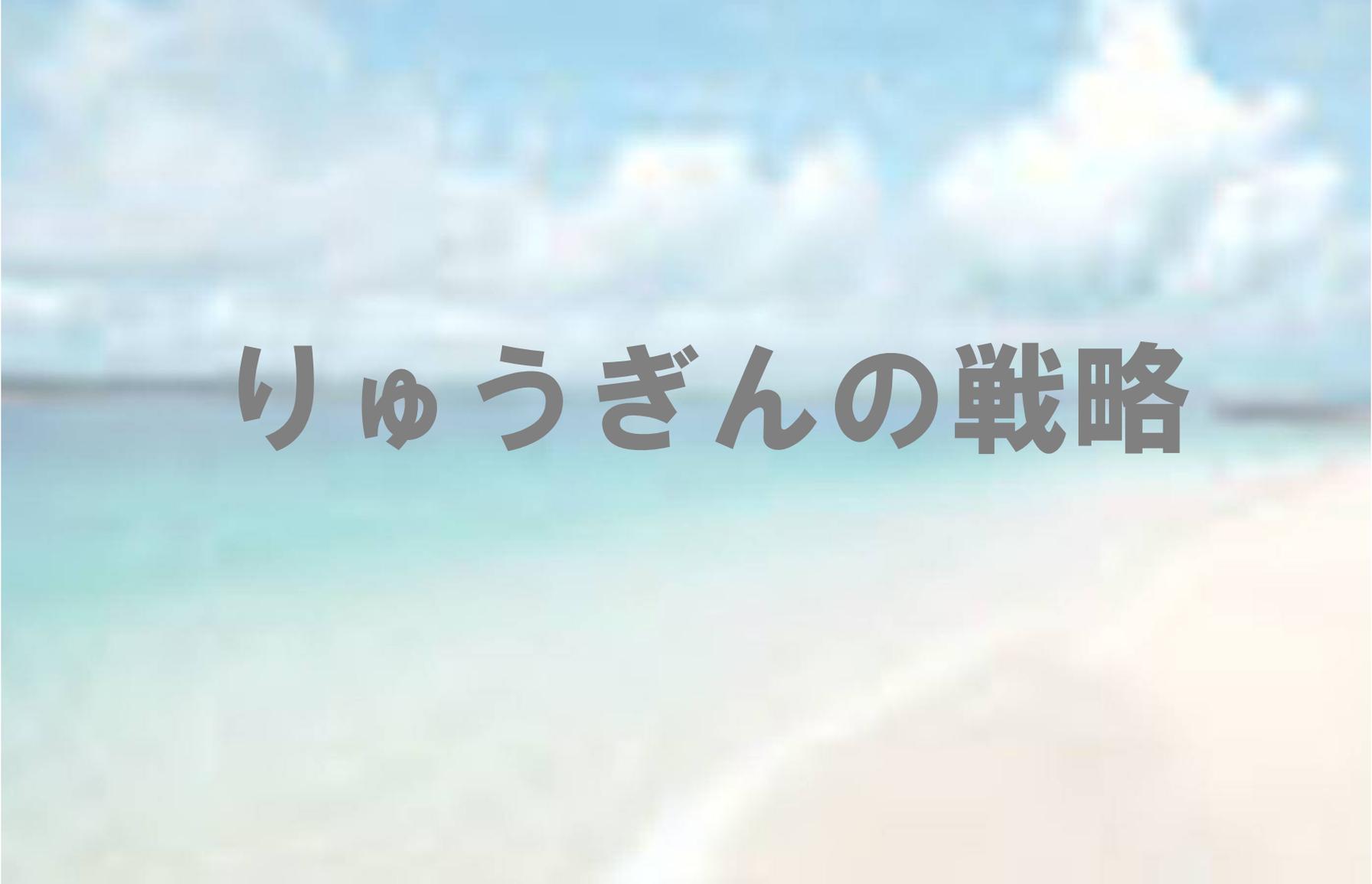
## ■27年3月期業績の見通し（連結）

琉球リースの連結子会社化により大幅増収、特別損益の減少により当期純利益は小幅減益。

（単位：億円）

	27年3月期 予想	26年3月期 実績	増減
連結経常収益	522	399	+123
連結経常利益	67	74	-7
連結当期純利益	46	49	-3

\* 増減は表上計算

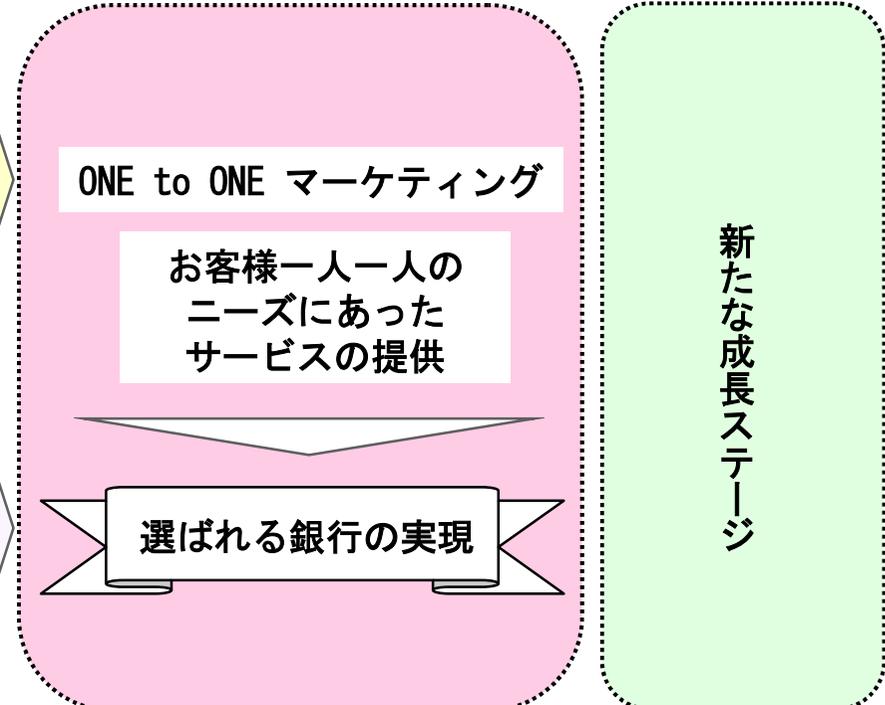


# りゅうぎんの戦略

# ■平成26年度短計の位置づけ



基本戦略	I 営業態勢の革新	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ITイノベーション3本の矢</li> <li>■ 営業店事務の合理化</li> <li>■ 融資推進3グループ、預かり資産推進チームの設置</li> <li>■ 新店舗の開設</li> <li>■ りゅうぎん金融大学の充実</li> </ul>
	II 専門性の高い人材の育成・採用	
成長戦略	I 地域経済の発展に貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療・介護向け、太陽光発電設備向け等事業性融資の拡大</li> <li>■ 円滑化法終了後の態勢構築</li> </ul>
	II リテール営業力、フィービジネスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Tポイントサービスの導入</li> <li>■ ローンセンターでの保険取扱い</li> </ul>
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高いポテンシャルを持つ沖縄県経済</li> <li>■ トップライン収益の逡減</li> </ul>



# ■平成26年度短計の基本的な考え方

平成26年度経営目標：「選ばれる銀行の実現」



収益力向上



成長戦略

■貸出増強

▶成長分野への取組強化

■役務収益の増大

▶預かり資産への取組強化

■有価証券運用の強化

▶有価証券運用手法の多様化

■グループ総合力の発揮

▶連結収益力の強化

■新たな収益機会の研究

■収益管理・ALM管理の高度化

基本戦略

ONE to ONE マーケティング

お客様一人一人のニーズにあったサービスの提供/非価格競争力の強化

■ワークスタイルの変革

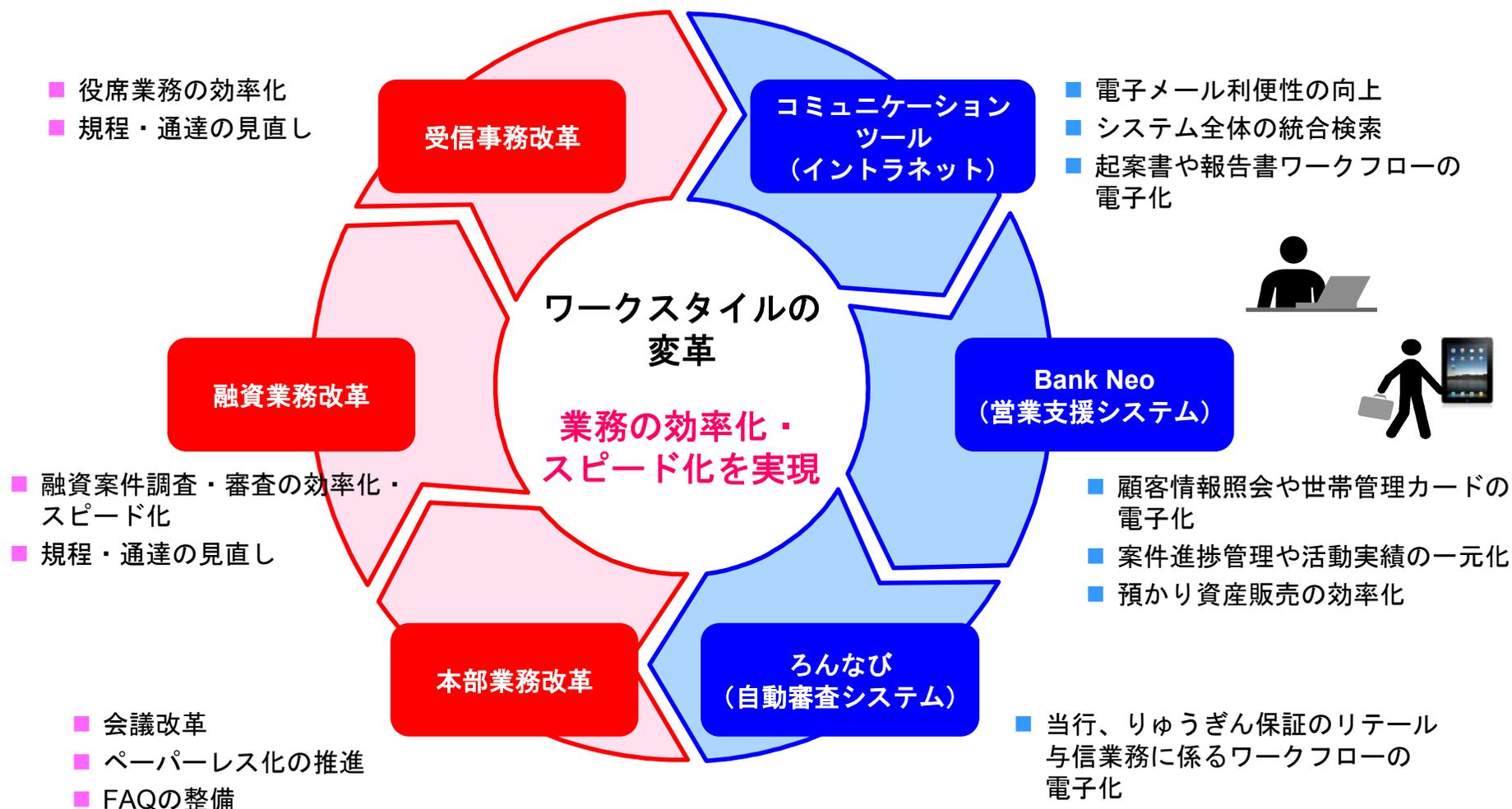
■人材育成

■意欲の持てる職場

コンプライアンスの徹底・リスク管理の強化

# ■基本戦略 I (営業態勢の革新)

## I T イノベーション3本の矢、営業店・本部業務改革



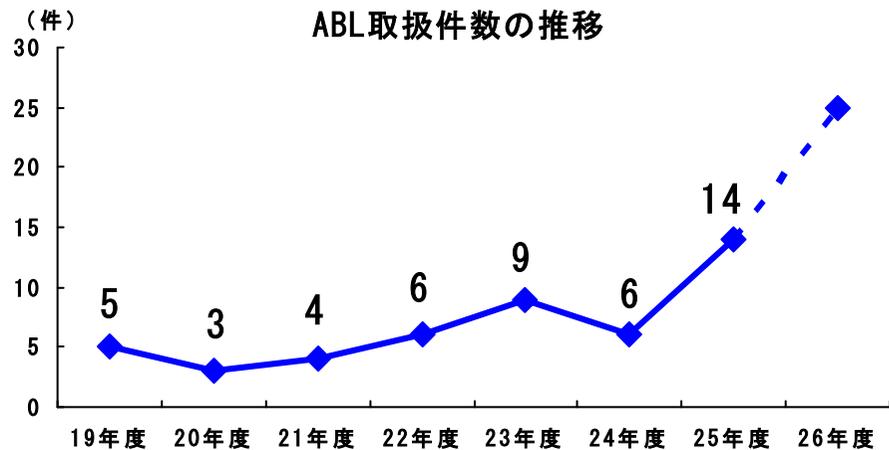
# 基本戦略Ⅱ（専門性の高い人材の育成・採用）

## 専門人材の育成

◆全金融機関で最多25名の動産評価アドバイザーが誕生



◆売掛金や動産（商品・原材料・機械設備）を担保とした融資（ABL）を拡大



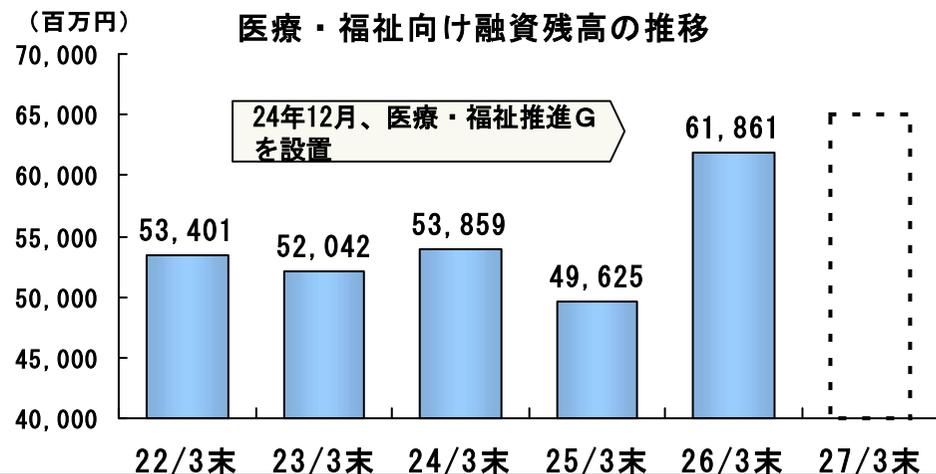
◆当行で2人目の医療経営士（2級）が誕生  
 医療・福祉向け専用商品も充実

ドクターズサポートローン

りゅうぎんドクターズサポートローン

ケア付き高齢者住宅専用ローンColle-ju

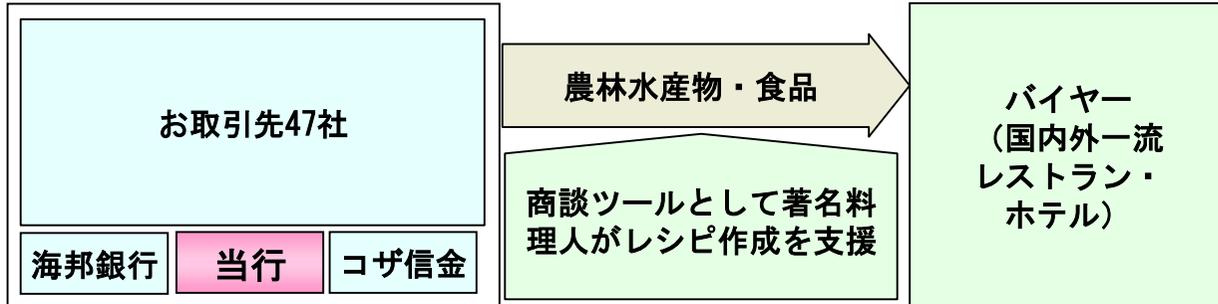
◆医療経営士の所属する医療・福祉推進グループが営業店と一体となり推進を強化



# 成長戦略 I (地域経済の発展に貢献)

## 販路拡大支援

### ◆「沖縄の味力発信商談会」を開催



## 農業ビジネス支援

### ◆りゅうぎんアグリローンを発売

県内金融機関で初めて沖縄県農業信用  
 基金協会と提携

農業経営に必要な  
 運転・設備  
 資金

最高1,000万円  
 まで



### ◆農業ビジネス活性化セミナーを開催

(もくもく手作りファーム)



(野村アグリプランニング&アドバイザー)



# ■ 成長戦略Ⅱ (リテール営業力、フィービジネスの強化)

## メイン化戦略・イメージ戦略



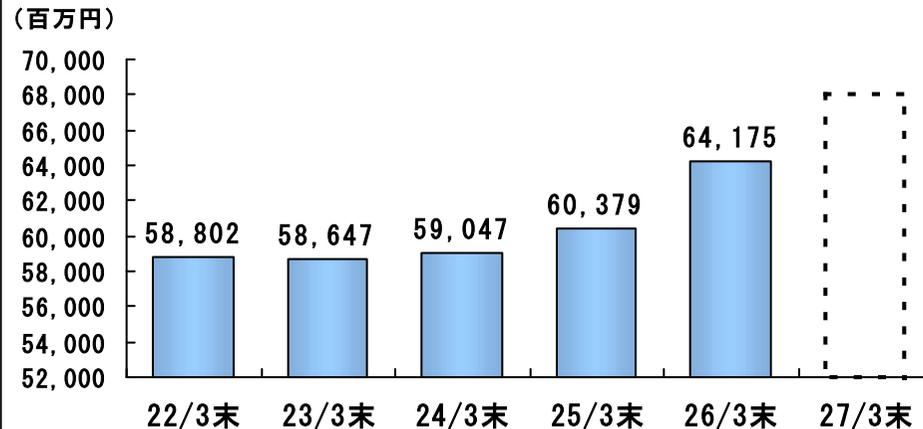
### ◆「しあわせのフリーローン」を発売

お使いみち自由

最高500万円まで

パート・専業  
主婦等も対象

住宅ローン除く個人ローンの残高推移



### ◆「北谷ローンセンター」を オープン



県内7ヶ所目のローン  
センター (土日も営業)



### ◆Tポイントサービスを導入

沖縄県はTポイント会員化率が全国1高い

新規給与振込口座指定 200ポイント

給振+積立投信 5ポイント  
(積立5,000円当たり)

給振+DCカード 60ポイント  
(毎年1月末)

若い世代を囲い込み



スルガ銀行、  
新生銀行に  
続き金融  
機関では3番  
目の導入

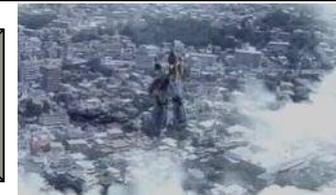
### ◆沖縄広告協会広告賞で金賞



教育ローンCM  
「子どもと哲学」

### ◆ACCCMフェスティバルでファイナリスト賞

住宅ローンCM  
「りゅうぎん住宅ローン  
トランスフォーム編」



# 6次産業化セミナーの開催（案）

## 開催概要（案）

開催日時(予定)	開催場所(予定)	参加者
平成26年7月11日(金) 14:00～18:00	久米島内ホテル等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者</li> <li>・(農業に興味のある)一般企業</li> <li>・行政関係者(市町村役場)</li> </ul>
平成26年7月14日(月) 14:00～18:00	ホテルゆがふいんおきなわ	
平成26年7月15日(火) 14:00～18:00	かりゆしアーバンリゾート・ナハ	
平成26年7月17日(木) 14:00～18:00	ホテル共和	
平成26年7月18日(金) 14:00～18:00	石垣島内ホテル	

## 開催プログラム（案）

		内容
第1部	啓発セミナー	テーマ(仮)『モクモク手づくりファームの挑戦』 講師 代表取締役 木村修
		テーマ(仮)『拡大するハラル市場と沖縄マーケットの可能性』 講師 ブランド総合研究所 所長 田中章雄
第2部	説明会	農業ファンドについて『ファンド概要と活用の事例』 講師 a-fiveもしくは野村アグリプランニング&アドバイザー
		りゅうぎんアグリローンについて 講師 琉球銀行
		6次化サポートセンターについて 講師 6次化サポートセンター
第3部	相談会	プランナー等による個別相談会   

琉球銀行は、「お客様から愛され、選ばれる銀行」を実現してまいります。

ご静聴ありがとうございました。